

CASKET STYLE 09-10

publisher : Tsutae Teshima

editor in chief : Hiroshi Teshima

edhitional staff

Reiko Yamada

Shintaro Kinoshita

contributeing writer & photograper

Yutaka Miyazawa

Osamu Yamagami (studio vis)

Takashi Sano (Jellyfishcafe)

Shinichi Nagamori

Masahiro Ohta (Chartreuse popper)

Mikiya Kasai (Kasai ryokan)

Shinichi Tsuchiya

Mitsuru Ishii

Taisei Yoshimoto

Munenori Suzuki (Logical baits)

photographers

Hiroshi Teshima

Hirokazu Fukushima (yca)

illustator : Osamu Yamagami (studio vis)

artdirector : Hiroshi Teshima

designer : Hirotaka Matsuzoe

special thanks

Tomoyuki Fukushi

Naoki Ishikawa

Shigetoshi Nakajima

Shinya Yamaoka

Toshiyuki Koyama

Kensei Fujita

Ryota Hidaka

Masahiro Kinoshita

Daisuke Naruke

Syunta Ushijima

Yasuyoshi Namiki

Sadami Kamiya

Yuuichi Honda

Shinya Amano

Kentaro Kawamura

Ryou Nakatsuka

Stream Design

Naoto Hishida

Hisashi Yoshimoto

Yumi Ishida

Mayu Noumi

Sayumi Ushijima

Michiyo Namiki

published by CASKET



CASKET

〒816-0802 福岡県春日市春日原北町3丁目-51
TEL. (092) 581-1187 FAX. (092) 592-3848

<http://www.club-casket.com>

僕はただ、まっすぐに、

その瞬間が好きです。





自然の中になると怖くなる時があります。
でも帰ってきたときはいつもより嬉しい。
大事なあなたが笑っていると、
少しだけ悩みが軽くなりました。
釣り場に向かう車の中で、
仕事のアイデアが降りてきます。
友達の悩みを聞いたり、
くだらない話をするだけでいい時間。
でも魚がかかった瞬間、
僕はたぶん一切を忘れていきます。
それは子供のころから変わりません。



CASKET STYLE 09-10

フライ始めてみませんか?

FLY

バスから始めるフライフィッシング

52 ハウトウバスフライ

バスフライ・カスケツスタイルとは?

51 Fly rod ディアバス # 777 # 666

51 Fly reel リーディングエッジ

LURE & LINE

21 トラウトプラグイン〜鱒狙いの最高ライン〜

32 トラッドミノー〜新たなトラディショナルミノー〜

43 イーヴァの冒険〜バスはたくさん笑った方がいい〜

OUTDOOR LIFE

56 大事な人と過ごす時間

58 たまにはエサ釣り シンプルー

60 カスケツセレクトグッズ

釣りは格好からでいいんです。

62 カスケツのオリジナルグッズ

釣りを語る。

Column

16 イトウ釣りのモラル 笠井幹哉

35 リアルスタイル 佐野孝

36 渓流初体験の日 永森伸一

37 イトウ釣りで出逢った人 手島浩志

40 バスフィッシングはキャストイング 木下真太郎

46 讃岐うどんバスツアー 大田政宏

56 大事な人と過ごす時間 吉元大星

58 外遊びの記憶 山田玲子

50 カスケツ流バスフライとは… 宮沢豊

CONTENTS

鱒族に出逢う旅

TROUT

TROUT ROD

08 スペイサイド〜いつかはこの地へ〜

10 トライアンプ〜鱒族の凱旋〜

12 レボリューション〜掛けた鱒は獲る〜

14 トラディション〜つり人も風景になる〜

20 ルイノスヒューチェン〜河の王よ永遠なれ〜

着脱できるトラウトロッド。

22 ベゼルシステム〜ニュースタイルトラウトロッド〜

26 ロッドの注文の仕方

決着のネット

LANDING NET

28 コンクルージョン

WOOD CATALOG

30 木の宝石カタログ

週末トップウォーターライフ

BASS

Top water bass rod

バスフィッシングはキャストありき。

41 ヘヴィゲイジ・ヘッドロング

41 ヘヴィゲイジ・クラシック

トップウォーターをシステムで楽しむ。

43 ラッキイストライク・シリーズ



鱒族に出会う旅、それは果てなき旅の始まり。

TROUT

至近距離で獲物を追うイトウを発見、その距離わずか5m。進む方向に合わせて僕も砂浜を歩く。30分ほど波打ち際を追い続け、ついにイトウはその身を浅場に乗り上げて僕のミノーを襲った。

鱒を追いかけるといつの間にか旅好きになつていった。鱒は他の魚類と比べて地方独特の面白さがあったからだ。この水系の山女魚は青いぞ、いや深緑がキレイだなどと勝手に心躍らせ、一匹にいちいち歓喜する。岩魚などは特に顕著で面白い。僕の写真のコレクションも相当なモノになつてきてマスマス熱を上げるのだ。(笑)でも最近では鱒を追いかけて旅をするというだけでなく、出会う人や自然に素直に感動するようになった自分がある。それは鱒が棲む自然が健全で圧倒的であるからだろう。健全な森を見れば鱒が見えてくる。鱒は豊潤な自然の恵みの一部なのだ。そこに住む人もまた健全だ。現地に行かないと見えない自然や人の営みにも触れるから、これからは鱒に逢う旅は終りがないのだと思う。



曇天の海岸に朽ちた木造船が横たわり、その風景は日本という印象がない景色だ。この船を押し上げた風の強さは時折、川さえも堰き止める。

Speyside SPB88HS

Lure weight 7~24g, Line class 8~16LB, GRIP: Double (END 260mm)

サーモン狙いのスペックを盛り込み、贅肉をシェイブしたスペイサイド・基軸モデル。本流、湖、海といったフィールドで最も使用されるウエイトの10~20gのルアーを快適に扱えるよう設定。トルクも十分だが軽量にも拘った、疲れ知らずのサーモンロッドである。

Speyside SPB92XHS

Lure weight 10~35g, Line class 8~20LB, GRIP: Double (END 270mm)

9cmクラスのみノーを軽い力で矢のように放つソフトティップを備え、向い風でもストレスなくキャスト出来る反発力を併せ持つ。大型の鱒を本流、荒れる海のなかであってもしっかりと受け止め主導権を奪われないバットパワーが秀逸。見た目は重厚感のある造りだが最も軽いウッドスパーサーで組むと180gという驚異的な軽さも見逃せない1本。

Speyside SALTY SPEYSIDE (開発中モデル)

荒波に向かって怪物のような未知の鱒を求める究極のアングラーに捧げます。キャストウエイトは18~45gとスペイサイドのワンクラス上。北風の強風吹き荒れる逆風のキャストにも未知の大物が突然ロッドを奪おうとしても、あなたはもう慌てることはありません。鱒だけでなくショアから狙う青物、ヒラスズキ、シイラ、カツオなどソルティはあらゆる魚種を相手に出来ます。

SSP96ZHS [Marie]

Lure weight 18~45g, Line class 10~20LB, GRIP: LONG Double (END 300mm)

SSP10ZHS [Arran]

Lure weight 18~45g, Line class 10~20LB, GRIP: LONG Double (END 300mm)



北海道で作られるご当地ルアーがまずは海サクラを連れてきた。遠藤クラブのサンドリップレス。



Speyside

今夜は眠れまい、
帰って一杯やるんだね。

スペイサイドとはアトランティックサーモンの聖地、スコットランド、スペイ川の畔を意味する。ご存じのとおり、スペイサイドとはサーモンの故郷であると同時にウイスキーの名門蒸留所が軒を連ねるスコッチの故郷でもあるのだ。豊潤で清らかな水がウイスキーや鱒を育て、釣りはサーモンに敬意を払い、スコッチをグビリと飲む。毎晩パブで繰り返される男達の尽きない自慢話が聞こえてきそうだ。そんな営々と繰り返される人間と鱒と川が繰り返す営みを想いながらこのロッドを振ってもらえれば幸いである。さあこれで今夜は一杯飲れそうだな。

海面に少し黒くなった場所がある。それはおそらく海藻が付着した岩だった。誘いを入れて高速リトリブのただ巻き、ガツン!今日は、これだ。



極上の時間を迎えるために、ひそかにポケットに忍ばせたのは、もちろんスペイサイドのモルトウイスキー、マッカラン12年の小瓶だ。実は中身はもうすでに焼酎になっている。(笑)

スペイサイド ブランクカラー: クリアグリーン

SPB88HS / Taper design F → M

SPB92XHS / Taper design F → M

SSP96ZHS / Taper design F → M

SSP10ZHS / Taper design F → M

写真のロッドは「SPB88HS」、グリップタイプD「種瘤」。表示価格はチタンガイド装着の標準仕様の価格です。オプションやロッドの注文の仕方は26頁を参照ください。

ROD: SPB88HS



HUNTER

ソブリン

(Made In Scotland!)

世界最高峰のウェリントンブーツ。内張りはソフトレザーで履き心地は抜群。表地も革風仕上げのブラウンラバー。サイドジッパー付きで脱着しやすい。ソールはショック吸収ソールを使用。ラバーソールとスパイクソールが選べる。アキレス腱部あたりのホールドがよく疲れにくい。





Triumph TRB72MHS

Lure weight 5~14g, Line class 8~10LB, GRIP: Double (END 220mm)

本流の戻りヤマメや臈月マスをメインに開発。溪流で使うような5cmクラスのミノーから14g程度のスプーンまでキャストできる。中流域で使用するあらゆるウエイトのルアーでも同じターニングポイント付近で投げやすいアクションを追及。しかしながらバラボリックなだるいロッドではない。戻りの速いファーストアクションで溪流同様に軽快なアクション、トウイッチが刻める。

Triumph Triumph TRB77HS

Lure weight 7~24g, Line class 8~16LB, GRIP: Double (END 260mm)

溪流のヤマメを狙うように本流でも細かいトウイッチで、どこまで遡上鱒をその気にさせることができるかを追求した1本。その軽さは7ft7inchとあって振ると少々拍子抜けするほど軽く、アングラーのアクションを多彩にする。さらにトライアンプのティップはセンサーのように水流の変化や追尾したサクラマス息遣いも正確に聞かせるだろう。またアクション中はファースト、ヒットした後はバラボリックになる可変アクションで掛けたサクラマスを逃がさない。

Triumph Triumph TRB83HS

Lure weight 7~24g, Line class 8~16LB, GRIP: Double (END 270mm)

日本国内の遡上鱒を1本で狙うならこれでしょう。トライアンプの特徴である軽量感は8ft3inchになっても健在。他者ロッドを圧倒する使用感を約束します。またトライアンプの可変アクションは一度サクラマスが乗れば綺麗な円弧を描き、じわじわと本流の流れからサクラマスを誘導し始める。やり取り中のバラシ激減は多くのトライアンプユーザーが認めることです。秋はリバーシーバスをこのロッドで狙うこともお勧めです。

山岡が1秒間で終えるトライアンプのキャストがこれだ。一瞬でトルクをため次の0.1秒後には放出を始めている。戻りの速さはご覧の通りだ。何百回もキャストを繰り返すサクラマス狙いにはこの疲れないキャストも重要な要素だ。そして山岡は今年も日野川にサクラマスの凱旋を見た。



トライアンプ ブランクカラー: クリアブルー

TRB72MHS Taper design F → M

TRB77HS Taper design F → M

TRB83HS Taper design F → M

写真のロッドは「TRB83HS」、グリップタイプA「花梨瘤白」。表示価格はチタンガイド装着の標準仕様の価格です。オプションやロッドの注文の仕方は26頁を参照ください。

ROD:TRB83HS



Triumph

鱒族の凱旋に会う。

鱒族の回帰とは自然の営みであると同時に長年我々に恵みをもたらしてきた。回帰湖上鱒を狙うにあたってその生態や生い立ちを知るようになると実際彼らが帰ってくることは奇跡であり、このロッドの名前の由来どおり、まさに「凱旋・トライアンプ」なのだ。川を旅立つときはあれほど小さかった稚魚が見事に鍛えられた体躯で帰ってくる。そして僕は彼らに一目会いたく、その力を体で感じたくて竿を振るのだ。そして幸運にも彼らを釣り上げることが出来たとき、自然の恵みを手にした時、我々は胸に何を思うだろうか。



Revolution

掛けた鱒は獲る。

Revolution RB48LS

Lure weight 1~7g Line class 3~6lb / Grip:Single (END 100mm)

狭小な源流域、ボサの多い溪流でこのショートレングスが威力を発揮する。また減流域で遭遇する不意な大イワナなどにもう動じることはないだろう。掛けたら獲るコンセプトを遂行する1&ハーフの源流ロッド。

Revolution RB55MS RB58MS

Lure weight 2~9g Line class 3~6lb /

(RB55MS) Grip : Single END100mm

(RB58MS) Grip : S-Double END140mm

国内の溪流全般で最も使用範囲の多いレボリューションがこの2本だ。初心者にも使いやすく熟練者も納得させるブランク設計は多くの方の溪流に革命の夢を持たせたことだろう。55と58はブランクは同一で総レングスとグリップのレングスが異なる。つまり片手でキャストすることが多い方は55で両手を添え、ひとつ上の淵をロングキャストで狙ったり、狭いオーバーハングに安定した初速度を付けたい方は58がお薦めである。

Revolution RB62MS

Lure weight 3~10g Line class 4~8lb / Grip:S.Double (END 180mm)

例えば、ボートからのランドロックサクラマス狙いであったり、中流・本流域のサツキマス、戻りヤマメ狙いにジャスト設定な1本。ロングキャストを決めつつ、軽快な取り回しを可能にするレングスゆえ中流でもトゥイッチを多用する攻撃的な釣りを好むアングラーにはたまらないはずである。

Revolution RB72MHS

Lure weight 3~18g Line class 6~10lb / Grip:Double (END 220mm)

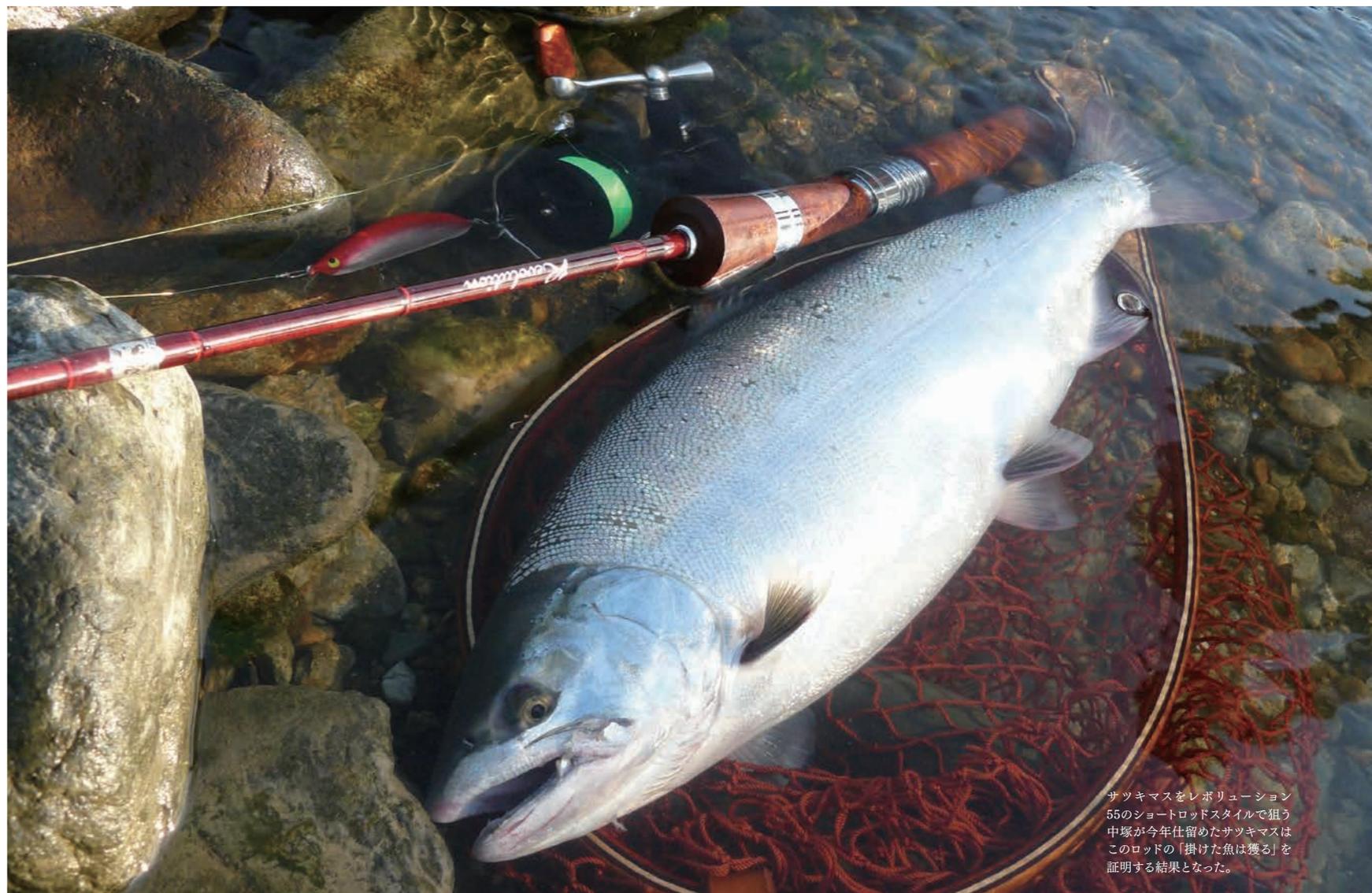
このレングス設定ながら軽量の溪流ミノーもキャストできれば湖のランドロックサクラマス、中流本流域のサツキマス、スーパーヤマメも対応できるロッド。特にミノーイングに拘るアングラーには納得のアクションデザインとなっている。スプーン使い手にもボトムが取りやすいと重宝されるファーストアクションである。はたまた狭小な湿原域のイトウ釣りにもこのロッドは大活躍であった。

Revolution RB52MS-4

Lure weight 2~9g Line class 3~6lb / Grip:Single (END 100mm)

フニャフニャのバックロッドに飽き飽きしていた方、おまたせです。まさ

に掛けたら獲るバックロッドの登場です。4ピースの偶数継ぎコンセプトは遡行時に2ピースにも使える携帯性と仕舞寸法がベストのバックパックに収納できる点にあります。これで帰りは手ぶらで安全に、竿をカメラに持ち替えても良いでしょう。

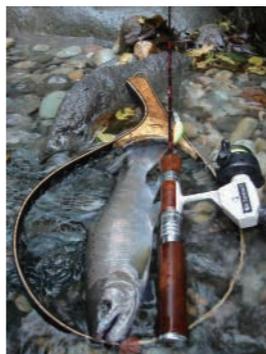


サツキマスレボリューション55のショートロッドスタイルで狙う中塚が今年仕留めたサツキマスはこのロッドの「掛けた魚は獲る」を証明する結果となった。

レボリューション ブランクカラー:クリアレッド

RB48LS	Taper design F
RB55MS	Taper design F
RB58MS	Taper design F
RB62MS	Taper design F
RB72MHS	Taper design F
RB52MS-4	Taper design F

写真のロッドは「RB55MS」、グリップタイプD「花梨痛」。表示価格はチタンガイド装着の標準仕様の価格です。オプションやロッドの注文の仕方は26頁を参照ください。



ROD:RB52MS-4

写真のロッドは「RB52MS-4」、グリップタイプD「花梨痛」。表示価格はチタンガイド装着の標準仕様の価格です。

溪流を楽しむ要素は様々です。レボリューションのコンセプトは確実に獲ることへの実践的要素を楽しむことを目的としています。それは難易度の高いピンポイントへのキャスト精度を上げるファーストテーパーソフトトップとアップクロスでミノーに追い食いしてきた瞬間のショートバイトを確実にロックさせるバットパワーを搭載。そして、その相反する特性をつなぐ中間位置にフェールル(継目)を設けず、絶妙なバランスでカーボンとポロンを巻き上げたワン&ハーフ設定になっています。つまり「掛けた鱒は獲る。」という釣り人の欲望そのままの強引な欲求を具現化した革命のロッドなのです。こう書けば目的遂行はほぼロッドがしてしまう、遊び心のない、優雅や余裕のあるトラウトフィッシャーマンとは言えないかも知れないが、レボリューションの高反発で鋭敏なブランクは柔らかなロッドと比べ、掛けた魚の大きさや強さを瞬時に把握。あの鱒がルアーをひたたく「ドキッ!」という感覚を増幅させる新たな楽しみも発見させたのだ。



クラシカルなトラディションには懐かしいリールやスピナーが似合う。いつでも追憶の魚には逢える。

Tradition

そして、釣り人も風景になる。

Tradition TR55ULS

Lure weight 1~7g Line class 3~6lb / Grip:Single (END 100mm)

不意にミノーを襲いかかったヤマメに対して瞬時に大あわせを入れてしまうのは釣り人の反射神経です。しかしこのロッドは相手が小さくても魚を引きすぎることなく、魚に主導権を預けながらじわじわと好きなだけ寄せることが出来る。ブランクを細く作り竿の美しさにも拘った。クラシカルな道具が似合う一本だ。

Tradition TR66LS TR66MS

(TR66LS) Lure weight 2~9g Line class 3~8lb / Grip S.Double (END 180mm)

(TR66MS) Lure weight 3~14g Line class 3~8lb / Grip S.Double (END 180mm)

中流、本流域で40cmを超えるサツキマス、本流ヤマメ、レインボーに嫌と言うほどロッドを曲げられたい方はこの2本からお選びください。

66Lはソフトティップで渓流用の5cmミノーでも容易にキャスト出来る設計。ダムインレットやポートからのキャストで使用する楽しい1本です。

66Mは水深のある分厚い中流域で使用するようなスプーンや本流用ミノーもキャスト出来るようになっている。全体にパワーを盛り込んだので押しの強い流れでもバラボリックベンドしながら耐えることが出来る。

Tradition TR76HS

Lure weight 5~19g Line class 5~10lb / Grip:Double (END 220mm)

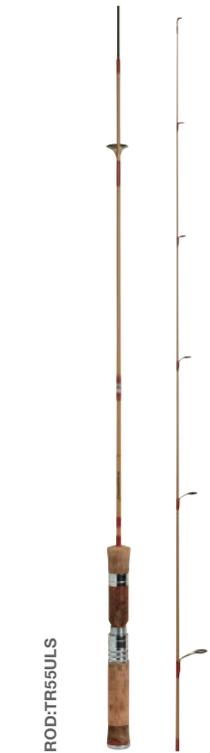
ビッグトラウト専用のナナハン・ロッド。軽量で癖がなく使いやすいロッドに仕上がっている。ジャーク好きのアングラーにおすすめ。掛ればしっかり曲がるが腰負けしない反発力はキャスト時やアクション中のトウイッチング・タイムラグをそれほど感じないはずだ。ビッグトラウトをしっかり竿に乗せてじわじわと寄せる時間を楽しんでほしい。

Tradition TR52ULS-4

Lure weight 1~7g Line class 3~6lb / Grip:Single (END 100mm) (仕舞寸法: 45cm)

釣りあげたヤマメと再会を果せば、どうせ逃がすのだからとシングルバーブレスを選ぶような卓越したアングラーにはこのトラディションはぜひ手にして欲しい。絶妙なテンションを保つティップ設計は魚の動向をじっくり見ることのできるような釣り人にこそ相応しい。4ピースはいざとなると2ピースにも使え、畳めばベストのバックパックにすっぽりと納まる。「帰りは

ロッドをカメラに持ちかえる。」カスケットのバックロッドコンセプトだ。



トラディション
ブランクカラー: マスタードイエロー

TR55ULS	Taper design M
TR66LS	Taper design M
TR66MS	Taper design M
TR76HS	Taper design M
TR52ULS-4	Taper design M

写真のロッドは「TR55ULS」、グリップタイプB「花梨葡萄木」。表示価格はチタンガイド装着の標準仕様の価格です。オプションやロッドの注文の仕方は26頁を参照ください。



写真のロッドは「TR52ULS-4」、グリップタイプB「花梨葡萄木」。表示価格はチタンガイド装着の標準仕様の価格です。



遠い昔の鱒釣りに安らぎを覚える方も多いだろう。決して最新リールに比べて使いやすいとは言えない古いリールやオールドスプーンを今でも使い続ける方は、釣ることの目的達成よりも好きな道具を使い続け、水辺にいる時間を大切にしているアングラーだ。トラディションはブランクを細く、マスタードイエローにクリアレッドのスレッドで懐古的なコスメティックに仕上げた。実際にクラシカルなカラーが似合う竿なのだ。アクションもミディアムバラボリックテーパーを採用。しなやかに全体がベンドするトラディションは魚が掛つてからの時間を大切にしている。しかもこのアクションはチョンと触れただけや薄皮一枚のフッキングをヘッドシェイクで外されることなく追従し、時間差でフッキングを成功。はたまたバーブレスフックを愛用される方に重宝されている。その優雅な鱒とのやり取りは釣り人も風景に変えてしまっただろう。



イトウを愛する人々
笠井 幹哉

北海道、猿払村にある「笠井旅館」の主人。イトウにはるばる遠いに来た釣り人を迎える、素晴らしい旅館だ。しかし客人をもてなし過ぎて酔いつぶすこともある要注意な人物。

■笠井旅館
北海道宗谷郡猿払村鬼志別南町
116 番地
tel:01635-2-3628

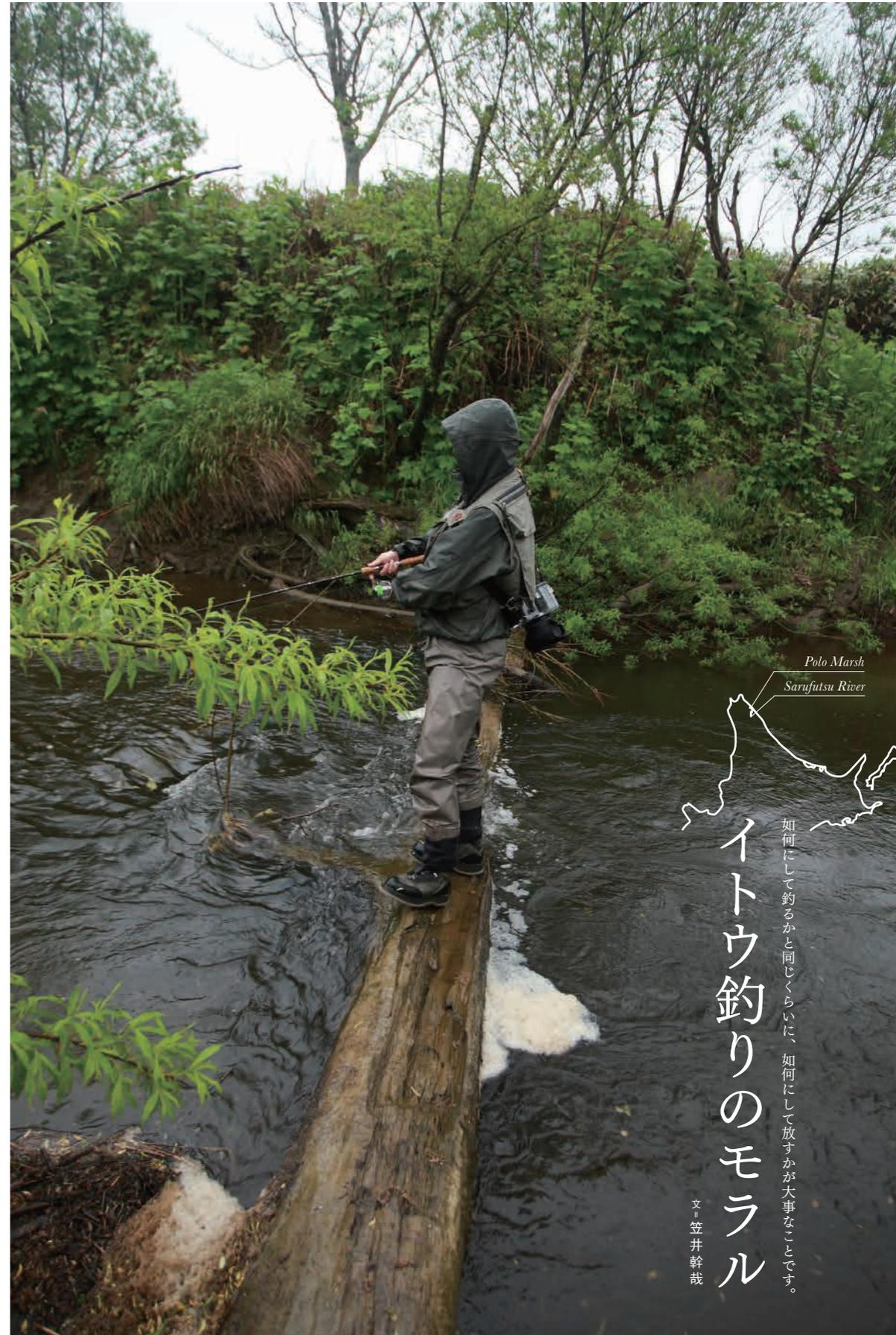


猿払川、初夏のイトウ。国内淡水の最大魚、イトウは釣り人を魅了してやまない。だが、近年の劇的な環境変化に生存が危惧されている。我々がこれからイトウに向き合うにはどうしたらいいのか？

こんにちは。はじめまして、私は、北海道の北の村、猿払に住んでいる笠井と言います。猿払生まれ猿払に育ち、この地を愛するあまり、今はここで旅館をやっています。

猿払と聞いてご存じの方もいらっしゃると思いますが、この猿払村には、いまや絶滅危惧種に名をあげる「イトウ」が生息しています。このイトウ、漢字では『魚』編に『鬼』と書き、その大きさや何でも食べてしまう様なところから、その漢字が使われたのでしょうか。ご存じの方には『今更何を』なんです。ただイトウの説明をしますと日本最大の淡水魚で、その大きさは2mになるとまで云われ伝説的な話では小舟よりも大きなイトウが船の下を泳いでいたという話が残っている程です(小舟の大きさは定かではありませんが…ね?)実際のところ、毎年メーターオーバーが釣れているとのこと。2mは無理としても夢が膨らみますよね。

そして、このイトウ、現在では北海道、サハリン、南千島、沿海州の一部だけに生息しているサケ科の魚です。鮭やカラフト鱒と違い一生の内に何度か産卵する多回産卵型の魚で、その度に相手を取っ換え引く換えしちゃうんです。より強い子孫を残すという本能なのでしょうね。また、最高寿命が20年を超えると云う程の長生きで、もしかして、皆さんと変わらないか、或いは年上だったりするかも知れません(敬意を払いましょう)そんなこんなで自然河川の生態系の頂点に君臨して居られるわけです。学名がEucloperis(フネチヅメリイ)と言い、なんとあのベリ提督によって初めて報告されたそうです。かつては青森県にも居たというイトウもその生息域を奪われ、北海道の中でもごく限られた河川にしか残って居ないのが現状です。そんなイトウを守ろうと地元有志で『猿払イトウの会』を立ち上げ、十年ほど前から活動



Polo Marsh
Sarufutsu River

如何にして釣るかと同じくらいに、如何にして放すかが大事なことです。

イトウ釣りのモラル

文 笠井 幹哉



なにせこの大きさでも5年は生きて
いるという。それに、こんな魚がい
るということは再生産がまだなされ
ている何よりの証拠だ。この川はま
だイトウに見捨てられていない。



イトウを愛する人々
川原 満

猿払イトウの会を引っ張る若い青
年ながらイトウの生き字引き。昨年
は釣るよりも楽しいと言って生態
調査を行った。実際、釣る楽しみよ
りも得たのが大きいと話す笑顔が
印象的だった。



イトウはゆっくりと水底へ消えた。

釣っておいで言うのもなんだが無事に帰ってくるとホッとする。釣ることは出来ても満足に放すことが出来ないイトウ釣り師は今のイトウ現状から考えれば釣る資格がない。

イトウを愛する人々、川村謙太郎。

彼は幼いころから宗谷の自然で育った。湿原の奥深く、ディーブウエーディングするスタイルは川を知り尽くしたものしか出来ない釣り方だ。彼はイトウをそして地元、宗谷の自然を心底愛している。

バレにくく、バーブレスは刺さりやすく外しやす
い点が、釣り人にも魚にもいいです。もしキャッチで
きた場合には(細かな事は省きますが)、出来るだ
け水から上げる時間を最小限に止めて下さい。写
真もほどほどに。万が一、飲み込まれて鰓にフッ
クがかかった場合は、無理に外そうとせず、ライ
ンをカットしてそのままリリースして下さい。(何れ
フックが外れて吐き出すのを祈りましょう...)。
また、マナーについても、今一度考えてみて下さ
い。釣り人のマナーが悪いと云われる事が多々あ
ります。『マナーの悪い人が釣りをしているだけ』なん
ですけど、釣り人全部が悪く言われるのは残念で
す。とりわけゴミの問題。人が大勢集まる場所
では比較的きれいなのに、人目の届かないところ
には必ずと言っていいほど捨ててあります。宅急便の
着払いで送ってあげたいほどです。また、山の中
で食べ残し等を捨てるのは、熊を呼び寄せる危険性
もあり絶対に止めてもらいたいものです！川岸に
グシャグシャになったラインが捨ててあったりす
るんですが、これが曲者で、足をつまずかせたり、そ
の拍子に転んで怪我したり、拳銃の果てにロッド
を折っちゃったりで、コンチクショ!!となるわけ
です。他にも色々ありますが、挙げるのと限がない
のでこの辺にします。ある高名な釣り人が『イ
トウがいらないと、イトウ釣りはできねえ...』のであ
る』と仰っていましたが、まったくその通りで、釣り
たきを守る。まさに釣り人の出来ることであり、し
なければならぬ事と思っております。

色々話したのでイトウ釣りは制約があつて窮
屈な釣りと感じたかもしれませんがそればかりと
は思わないで、ぜひ一度『イトウ釣り』に来て下さ
い。北海道の北の果ては遠いですが、来られるので
したら私に是非ご連絡下さい。いい宿があるんで
す！(笑)建物はかなりのボロで、気の利いたアドバ
イスも出来ませんが、酒の相手なら出来ます...

しています。

その主な活動内容は、イトウ保護に対する啓蒙
活動、生息環境、産卵環境の調査、産卵週上の調
査、子供たちへの環境教育、河川のゴミ拾いなどな
ど...ですが、私たちの最大のテーマは『永遠(いつ)も
までも天然のイトウが釣れる川を残そう』です。
未来の子供たちにイトウと、それを育む環境を
残したいという想いです。『釣る』と云うことと『守
る』ということは互いに相反する事のように思わ
れるかもしれませんが、実際『守るなら釣るな』とい
う意見も多く、説明に苦慮する所ですが、猿払で
は多くの釣り人達の強い関心が保護を支えています。
釣りの存在によって守られているといえます。
『釣りたいから守る』漁業でいう育てる漁業と同
じで、釣る為には育てるといふことなのです。だか
らと言って放流すればいいというのではなく、自然
の生産力の維持向上に努めることが重要と考え
ています。幸いにも猿払川には魚の遡上を妨げる
人工的工作物は殆ど無く、今のところ再生産はう
まくいっています。産卵期の中・上流域での釣りは
自粛をお願いします。

釣るといふ行為で大きな問題は、釣り餌食
べる(持ち帰る)これはとても自然な事で、釣りの本
道とでもいうべき事なのですが、現在のイトウの現
状にはそぐわないのです。ですから、釣りをする以
上は、キャッチ&リリース(C&R)を徹底する以
外に道は在りません。リリースといつても、最終的
に川へ戻せばいいのではなく、戻した魚が生きてい
る事が重要です。如何にして釣るかと同じくらい
に、如何にして放すかが大切なことです。その為
にはどんなタックルで、キャッチした魚とどのように
接するのかを考えてみてください。ちなみに、タッ
クルについては、できる限りハードなもの(ライン
ブレイクで泣かない為にも、魚の為にも)、フックにつ
いてはシングルバーブレスがおすすめです。シングルは

Ruinos Huchen

川の王よ永遠あれ。



ルイノとはアイヌ語で強い意。フューチェンはもちろんイトウのことである。国産淡水魚類では最も大型になるこの魚に釣師は一度は憧れを抱くであろう。このロッドは北海道の源流イトウ釣りを愛する釣師の熱望により生まれた。つまり彼らが求めた命題はこうだ。狭い湿原河川でアップクロスにキャストされたミノーを追い食いしてきたイトウに対して、瞬時に吸い込ませるソフトティップと次の瞬間にはフッキングを決める有り余るほどのハードバットを持つロッド。蛇行し倒木の多い川で走ろうとするイトウにはライン強度を最大限に生かし、ギリギリまでラインを出しては危険なのだ。結果、超ファーストテーパーのイトウ専用ロッドが仕上がった。そうして販売開始から2年。このロッドはイトウのみならず、ショートレンジスなのに強いバットパワーを持つ故にテクニカルにビッグトラウトを狙うアングラーから注目されている。

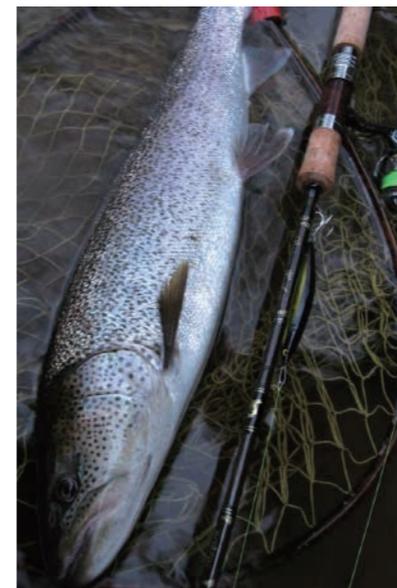


ROD:RHB73HS

ルイノスフューチェン
ブランクカラー：クリアブラウン

RHB73HS Taper design F

写真のロッドは「RHB73HS」、グリップタイプA「花梨葡萄木」。表示価格はチタンガイド装置の標準仕様の価格です。オプションやロッドの注文の仕方は26頁を参照ください。



Ruinos Huchen RHB73HS
Lure weight 5~20g, Line class 8~12LB, GRIP: Double (END 250mm)

極端なファーストティップアクションデザイン。ミッドからバットはポロンで堅い顎を打ち抜くパワーを執拗に巻き込んだ。ライン強度を最大限に活かし、止めるどころではしっかりと止められるロッドです。専用ロッドソックス付き



「伸びのあるライン」の有効性の発見。

トラウトプラグングにおける

溪流の流れは一概でなく複雑だ。その中を泳ぎ切るにはミノーの直進性は重要な課題と言える。ミノーのトゥルーチューンをシビアに調整するアングラーも多いことだろう。そう、これが狂っていれば大事な瞬間にミノーを水中からブレイクアウトさせ、ドジをさせてしまうからだ。しかしミノーをキッチリ左右対称に作ることは難しい。バルサの両面張り合わせとなると左右の比重が揃うこともかなり難しいのだ。さらにはハンドメイドで制作されたミノーのリップのわずかなズレだって考慮すればそれは至難に近い。仮にそれ

をPEラインのような伸びのないラインで高速リトリブすれば必ずどちらかにブレイクアウトするだろう。それが乱流の漂流なら：想像に難くない。それを補正するのが実はトラウトプラグングに見られるラインの適度な伸びなのだ。ミノーが流に耐えられずブレイクアウトするタイミングにプラグングラインは僅かに伸びて耐えてみせる。もちろんこの性能に頼らず、目視でミノー位置を確認し、飛び出してしまいうギリギリを見極めてアクションを変えるのはアングラーの腕の見せ所と云っていい。それを容易にするようにプラグングは視認性の高い蛍光グリーンを用意している。

さらに鱗族のように捕食後直後に反転するような魚に対してもプラグングラインの伸びは有効である。ヒット直後から始まる、暴虐な激しいローリングシヨックも吸収するラインなのだ。そしてグイグイと瞬間に入っていたカエンまでしっかりと刺し込んでフッキングをロックしてしまう。

さらに今年、クリアブルーの新色を追加した。透明に近いことでラインの存在が気がつかせにくいメリットを想像しがたが、実は黒や褐色の水色にはラインが青白く光って認識しやすい。また蛍光グリーンに比べて染料が減ったことで純粋に強度が上がったことも見逃せない進化だ。これによりトラウトプラグングはこれからはトラウトアーフィッシングの最高ラインとしてまたひとつ死角を減らした。

LB/ 直径 (mm)	300m
3LB / 0.148	グリーン クリアブルーの2種
4LB / 0.165	
5LB / 0.185	
6LB / 0.205	
8LB / 0.235	
10LB / 0.250	
12LB / 0.275	

トラウトプラグング

素材：ナイロン 300m

トラウトプラグングは上記の適度な伸びを確保するためにあえて並行巻きを採用していません。300Mラインには50M毎にシール表記しているからしっかりと使い切ることができます。



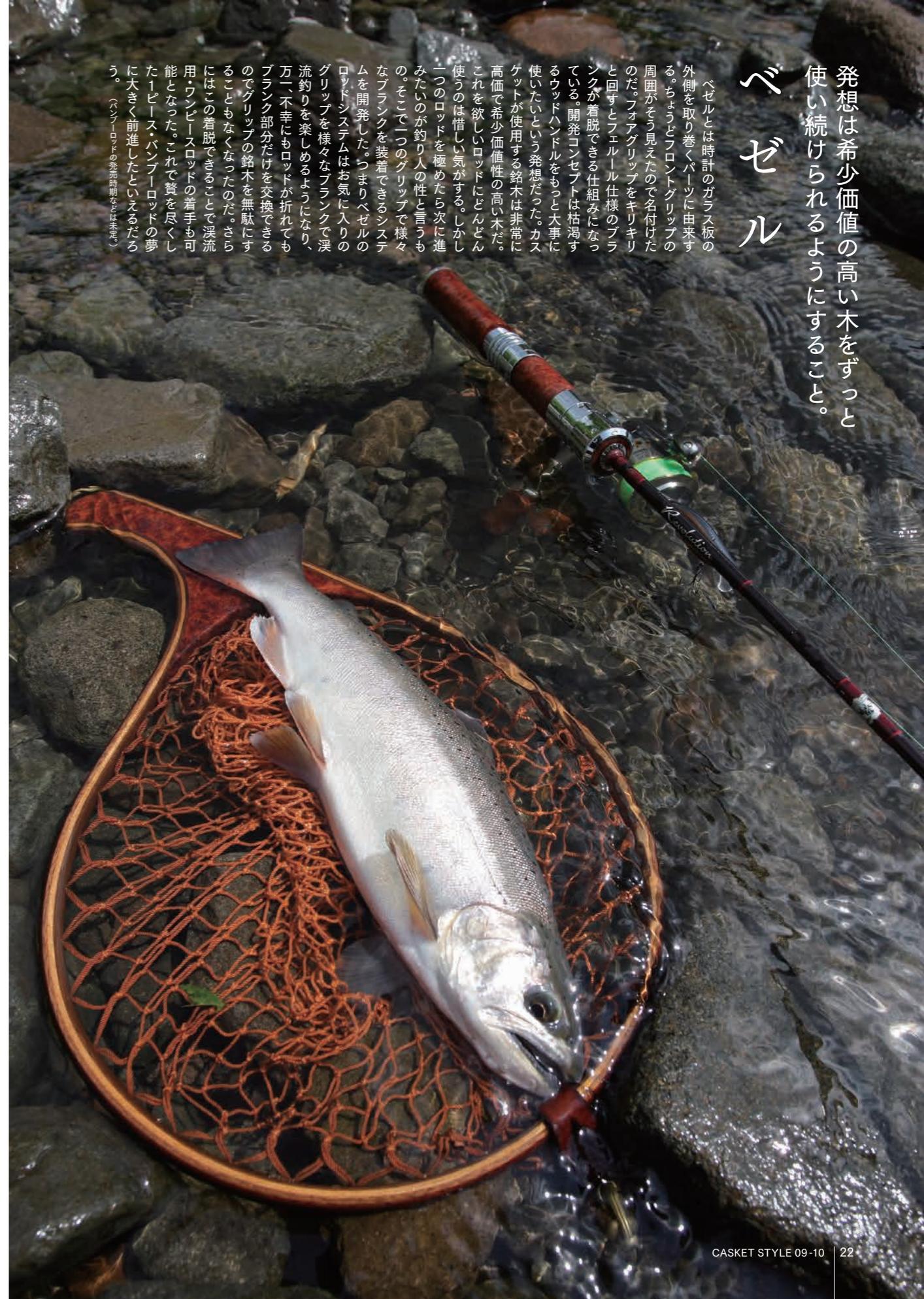
グリーン

クリアブルー

発想は希少価値の高い木をずっと
使い続けられるようにすること。

ベゼル

ベゼルとは時計のガラス板の外側を取り巻くパーツに由来する。ちょうどフロントグリップの周囲がそう見えたので名付けたのだ。フォアグリップをキリギリと回すとフェール仕様のブランクが着脱できる仕組みになっている。開発コンセプトは枯渇するウッドハンドルをもっと大事に使用したいという発想だった。カセットが使用する銘木は非常に高価で希少価値性の高い木だ。これを欲しいロッドにどんどん使うのは惜しい気がする。しかし一つのロッドを極めたら次に進みたいのが釣り人の性と言うもの。そこで一つのグリップで様々なブランクを装着できるシステムを開発した。つまりベゼルのロッドシステムはお気に入りのグリップを様々なブランクで溪流釣りを楽しめるようになり、万一不幸にもロッドが折れてもブランク部分だけを交換できるのでグリップの銘木を無駄にすることもなくなつたのだ。さらにはこの着脱できることで溪流用・ワンピースロッドの着脱も可能となった。これで贅を尽くした1ピース・バンブーロッドの夢に大きく前進したといえるだろう。(バンブーロッドの発売時期などは未定)



ベゼルに使用される金属はジュラルミン・ハードクロムメッキ仕様。海水で使用した場合は良く真水で洗浄してほしい。小石が詰まった場合はそのまま無理に回さずにスクリューを洗浄してから使用して欲しい。

BEZEL GRIP SYSTEM



ベゼル仕様設定・販売価格・ご注文について

現在ベゼルグリップはシングル、セミダブルの2種類を製作。今後ベリーショートモデルやブランク径の太いものにも対応できるフェールを開発予定です。グリップに使用される銘木は数々ありますが仕入れ及び製作の関係で在庫がある時のみの販売とし、ブランクの製作と違って受注生産は致しません。(次回発売は2009年春予定。)

着脱できるスピニングロッドシステム

ベゼルのフロントグリップは左右に回すことができます。時計逆回りに回すと締め付けが緩んでフェールを抜くことが可能です。(写真1)フェールにはゴムのOリングが付属してロッドを振った時の緩みや音を解消します。またフロントグリップの中心のドーナツ型のウッドリングは外れるようになっています。失くさないようご注意ください。これはブランクをセットする際にセンター調整をしやすいするためです。また締め付けの際によりロッドを固定しようと無理に締め付けるのはご遠慮ください。特に工具などで締め付けるのは避けてください。ブランクが上手く固定できない時はカセットまでご相談ください。



ベゼルグリップに使用される銘木はオイルフィニッシュ仕上げ。定期的なオイルメンテでさらに唯一無二なグリップが出来上がる。ウッドは花梨瘤白、シャム柿、ブビンガ、花梨瘤紅白。



ブランクは専用フェールを使用する。他のフェールは適合しないのでご注意。6.0mm, 6.5mm, 7.0mm, 7.5mmの4タイプ。販売価格：¥0,000

ベゼルグリップ本体価格表

詳しくはHPをご覧ください。

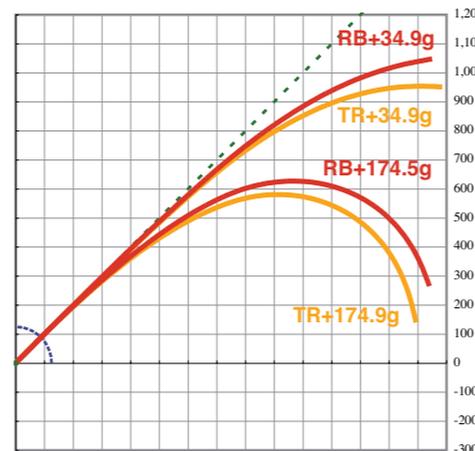
銘木 (一例)	シングル価格	セミダブル価格	備考
花梨葡萄杓	¥00,000	¥00,000	ウッドの写真はウッドカタログページを参照ください。 グリップ、在庫、受付状況はホームページをご覧ください。
花梨瘤・紅	¥00,000	¥00,000	
花梨瘤・紅白	¥00,000	¥00,000	
ニレ瘤	¥00,000	¥00,000	
樺瘤	¥00,000	¥00,000	
ブビンガ玉杓	¥00,000	¥00,000	

ベゼル専用ロッド (1ピースシリーズ)		価格	
BEZEL-1 (Revolution)	BEZEL-1-RB47MS	¥00,000	チタン SIC ガイド装着。 専用フェール付き価格です。
	BEZEL-1-RB51MS		
	BEZEL-1-RB55MS		
	BEZEL-1-RB57MS		
BEZEL-1 (Tradition)	BEZEL-1-TR51ULS	¥00,000	
	BEZEL-1-TR56ULS		
	BEZEL-1-TR510SULS		
ベゼル専用ロッド (2ピースシリーズ)		価格	
Revolution (1&half)	RB48LS	¥00,000	レボリューション 1&half ロッド 専用フェール付き価格です。 4ピースのベゼル仕様は厳密には ベゼルグリップを込みにすると 5ピース (分割) ということになります。
	RB55MS	¥00,000	
	RB58MS	¥00,000	
	RB52MS-4(5P)	¥00,000	
	RB60MS-4(5P)	¥00,000	
Tradition (Center2Piece)	TR55ULS	¥00,000	トラディション Center2Piece ロッド 専用フェール付き価格です。 4ピースのベゼル仕様は厳密には ベゼルグリップを込みにすると 5ピース (分割) ということになります。
	TR66LS	¥00,000	
	TR52ULS-4(5P)	¥00,000	
	TR60ULS-4(5P)	¥00,000	
専用フェール	6.0mm	¥0,000	ブランクを自作してフェール選択の際は ブランクの直径を測定確認のうえ購入ください。
	6.5mm		
	7.0mm		
	7.5mm		



突然、川幅5mの源流域で40cmを超えるレインボーがロッドをひったくった。ベゼルの脱着部のテストには格好の相手だ。もちろん微動だにしないグリップはブランクスルー同様に強引なゲームを完遂させた。

ロッド：RB55MS(1&half)
ミノ：メトロトラウト mt:iii



BEZEL-1(1ピースモデル)参考:加重グラフ

レンズを変えると被写体の世界が変わる。
ブランクを変えるとその魚の見方も変わるはずだ。

BAMBONIA CARBON -UNIDIRECTIONAL FIBER-

■ベゼル専用ブランク

このベゼルシステムの最高のパフォーマンスを楽しんでいただくためにカスケットでは2種類の1ピース・ブランクを新たに製作。それはカスケットで従来からある二つのコンセプトでお馴染みのレボリューションコンセプトとトラディションコンセプトをご用意した。今回素材にはカーボンのバンパーと呼ばれる竹素材に近似したユニディショナル・カーボンという方向性長繊維素材を使用。あえてポロンは使用していない。CARBON・UDは竿の素材としては最高のもので設計次第で自在な反発力と強靱な粘りを魅せる。もはやロッド作りの自由度ではポロンの性能を超えていると言ってもいいだろう。ブランクにはどのグリップでもどのブランクでも着脱交換できる専用の共通フェールを付属。グリップ一つあれば様々なブランクで様々なシーンを楽しむことができる。

Revolution BEZEL-1



BEZEL-1-Revolution は張りのある高弾性・ファーストテーパー設計。アップクロスの攻めの釣りに有効なロッドでフッキングミスはないロッド。

BEZEL-1RB シリーズはレングス違いで 47,51,55,57 の 4 パターンをご用意。

BEZEL-1-RB47MS、BEZEL-1-RB51MS、BEZEL-1-RB55MS、BEZEL-1-RB57MS

Tradition BEZEL-1



BEZEL-1-Tradition は弾かないソフトティップが売りのパラボリック設計。ダウンクロスで食べさせたり、パーブレスフックを使うような余裕のある人向けのロッド。

BEZEL-1TR シリーズはレングス違いで 51,56,510 の 3 パターンをご用意。

BEZEL-1-TR51ULS、BEZEL-1-TR56ULS、BEZEL-1-TR510SULS



ウッド/加算料金	グリップタイプ:A	グリップタイプ:B	グリップタイプ:C	グリップタイプ:D	グリップタイプ図
	スパーサーウッドにした場合	オールウッドにした場合	フロント・スパーサー・リアウッドにした場合	スパーサー・リアをウッドにした場合	
1 花梨葡萄杓	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
2 花梨瘤 (紅)	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
3 花梨瘤 (白)	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
4 花梨瘤 (青白)	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
5 樺瘤	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
6 ニレ瘤	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
7 マーブルウッド瘤	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
8 ブラックアッシュ瘤	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
9 ブラックウオルナット瘤	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
10 ハワイアンコア杓	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
11 黒柿	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
12 シャム柿	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
13 ブピンガ玉杓	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
14 パーズアイメイプル	追加料金は ありません。	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
15 カーリーメイプル		¥0,000	¥0,000	¥0,000	
16 栃縮杓		¥0,000	¥0,000	¥0,000	
17 ゼブラウッド		¥0,000	¥0,000	¥0,000	
18 クリ杓		¥0,000	¥0,000	¥0,000	
19 神代ケヤキ	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
20 タモ玉杓	¥0,000	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
21 コクタン	追加料金は ありません。	¥0,000	¥0,000	¥0,000	
22 ウォルナット杓		¥0,000	¥0,000	¥0,000	
23 花梨杓		¥0,000	¥0,000	¥0,000	
24 メイプル杓		¥0,000	¥0,000	¥0,000	

ロッドアイテム		レングス	ルアーキャスト 範囲	リアグリップ長	標準重量	標準価格	オールウッド
SPEYSIDE	SPB92XHS	9ft2in	10~35g	Double (270mm)	約183g	¥00,000	×
	SPB88HS	8ft8in	7~24g	Double (260mm)	約160g	¥00,000	×
TRIUMPH	TRB83HS	8ft3in	7~24g	Double (270mm)	約149g	¥00,000	×
	TRB77HS	7ft7in	7~24g	Double (260mm)	約145g	¥00,000	×
	TRB72MHS	7ft2in	5~14g	Double (220mm)	約142g	¥00,000	×
REVOLUTION	RB72MHS	7ft2in	3~18g	Double (220mm)	約136g	¥00,000	×
	RB62MS	6ft2in	3~10g	S.Double (180mm)	約123g	¥00,000	×
	RB58MS	5ft8in	2~9g	S.Double (140mm)	約97g	¥00,000	○
	RB55MS	5ft5in	2~9g	Single (100mm)	約97g	¥00,000	○
	RB48LS	4ft8in	1~7g	Single (100mm)	約85g	¥00,000	○
	RB52MS-4	5ft2in	2~9g	Single (100mm)	約93g	¥00,000	○
TRADITION	TR76HS	7ft6in	5~19g	Double (220mm)	約140g	¥00,000	×
	TR66MS	6ft6in	3~14g	S.Double (180mm)	約108g	¥00,000	×
	TR66LS	6ft6in	2~9g	S.Double (180mm)	約108g	¥00,000	×
	TR55ULS	5ft5in	1~7g	Single (100mm)	約87g	¥00,000	○
	TR52ULS-4	5ft2in	1~7g	Single (100mm)	約88g	¥00,000	○
RUINOS HUCHEN	RHB73HS	7ft3in	5~20g	Double (250mm)	約144g	¥00,000	×



グリップタイプ:A



グリップタイプ:B



グリップタイプ:C



グリップタイプ:D



[シルバー]

[トワイライトクロム]

カスケットのトラウトロッドはお客様のオーダーメイドで唯一無二な一本を製作いたします。カスタムオーダー出来る内容はスパーサーに使う木の種類、金具のカラー、グリップの設定(A~D)などです。各ロッドページの掲載価格は27頁・表1のグリップタイプAで「*加算料金なし」設定のウッドを選択された場合の最安価格です。

STEP 1 ◎ブランクを選択

ブランクをお選びください。
ブランクそれぞれの詳細は紹介ページを参照ください。

STEP 2 ◎ウッドスパーサーを選択

ウッドスパーサーをお選びください。
カスケットのトラウトロッドの特徴は贅沢な銘木です。木の種類に関しては30頁のウッドカタログを参照ください。すべての木が常時在庫があるわけではありません。在庫状況および注文可否につきましては店頭またはホームページのウッド紹介ページを参照ください。
<http://www.club-casket.com/original/wood/>

STEP 3 ◎スクリーシート(金具)カラーを選択

スクリーシートの金具カラーをお選びください。
ジュラルミンスクリーシートは硬度のあるクロムメッキを使用。カラーにはシルバーとやや黒みがかったトワイライトクロムの2種類がございます。お好きなカラーをお選びください。

STEP 4 ◎カスタムグリップを選択

グリップ仕様をお選びください。
グリップ仕様は4タイプをご用意しています。それぞれの銘木とグリップ設定でロッドに加工料金が発生いたします。ロッド掲載ページの標準価格に表の加工料金を合計した金額がご請求価格となります。
Aタイプはスパーサーのみ銘木を使用しフロントとリアグリップは上質なコルクを使用します。すべてのロッドで対応が可能です。
Bタイプはオールウッドタイプです。セミダブルグリップのような全長の長いグリップは製作することができません。27頁・表2でご確認ください。
Cタイプはフロント、スパーサー、エンド(25mm)の3箇所に銘木を使用しリアグリップの直線部にはコルクを使用したものです。すべてのロッドで対応が可能です。
Dタイプはフロントとリアグリップの直線部はコルクでスパーサーとエンド(25mm)の2箇所に銘木を使用したものです。すべてのロッドで対応が可能です。

Original Duralmin Triple screw lock



カスケットのトラウトロッドスクリーシート止め部は3連のトリプルロックスクリーシステムになっています。これはセットしたリールを固定するカスケッド独自のシステムです。使い方は以下の通り。スクリーシート及びネジ部分に砂やゴミが噛んでいないことを確認してください。リールフットをスパーサーに挿入したら1リングを止まる位置まで押し上げてください。次に2リングはネジなしのフリーリングですのでそのまま押し上げて3リングをねじ込んで止めます。いったん動かなくなるところまでねじ込んだら3リングを動かさないように押さえて1リングを下方に回します。ちょうど2リングを締め合うような具合です。この時スクリーシートは動きませんが力方向が相互に働くことによって取れにくくなります。はずす場合は3リングをしっかり持って下方にねじって外します。はずれにくい場合は2リングと一緒に握って回すと外れやすくなります。注意:決してペンチなどの金属工具でネジを回さないように締めたりしないでください。メッキが剥けたりとれなくなる原因となります。



MONSTER

小さなネットでまごまごしている間に大物を逃した経験のある方、あなたが欲しいネットはこれです。真剣に大物狙いであることを背中で語り、このネットを背中から引き抜く時は必ずや決着の瞬間を手に入れることができます。大型なのにオイルフィニッシュ採用で重量を軽減しています。

ウッド：マーブルウッドパール(瘤)
ネットカラー：ダークブルー



BIG TROUT

何を隠そう、コンクルージョン元祖モデルがこのモデルなのです。黄金比を極めた美しさはもちろん開発者がネットとして一番欲しかったサイズがビッグトラウトでした。これは北海道のようなフィールドで渓流域なのにとんでもない大物が来るような河川に備える最高の一本です。

ウッド：ブラックアッシュパール
ネットカラー：グラデーション*



BIG TROUT CURVE

形状はビッグトラウトサイズと同寸。魚の捕りやすさではストレートだが洒落っ気のあるフィッシャーマンにこのカーブデザインを捧げます。カーブしているとは言え、外周はストレート部分を設け、限りなくランディングしやすいよう工夫した職人自慢のリカーブデザインです。

ウッド：花梨瘤(紅)
ネットカラー：ブルー



STREAM 30

源流の尺ヤマメに飽き足らず、本流育ちのサクラマスのようなモンスターヤマメを狙う方、また不意の大型レインボーを警戒する方にこのネットをお勧めします。深めに取ったネットは頭さえ入れてしまえばしっかりと底に落ちて60cmまでは捕獲を成功させる実力の持ち主です。ビッグトラウトは少し大袈裟かなと思うような軽装を好まれる方にもお勧めです。

ウッド：樺瘤
ネットカラー：オリーブグリーン



STREAM 26

渓流で1本選ぶならこのサイズでしょう。尺ヤマメも楽にランディングできる上に25cmを超える立派なヤマメを横たえた時にフレーム部分からはみ出す姿を御覧にいられます。こんな時は釣り人の口が自然に左右に開くのです。そんなご主人思いの溪流スタンダードネットがこれです。

ウッド：花梨葡萄空
ネットカラー：グラデーション*



STREAM 23

源流の渓魚は息を呑むほど美しい。それはまるで絹肌の少女のような存在かもしれませぬ。その姿をカメラに収めることが楽しみな釣り人も多いことでしょう。しかし可憐な美しさとサイズは反比例するものです。そんな見栄えにも拘る欲張りな釣り人のために用意した源流専用ネットがこのサイズです。

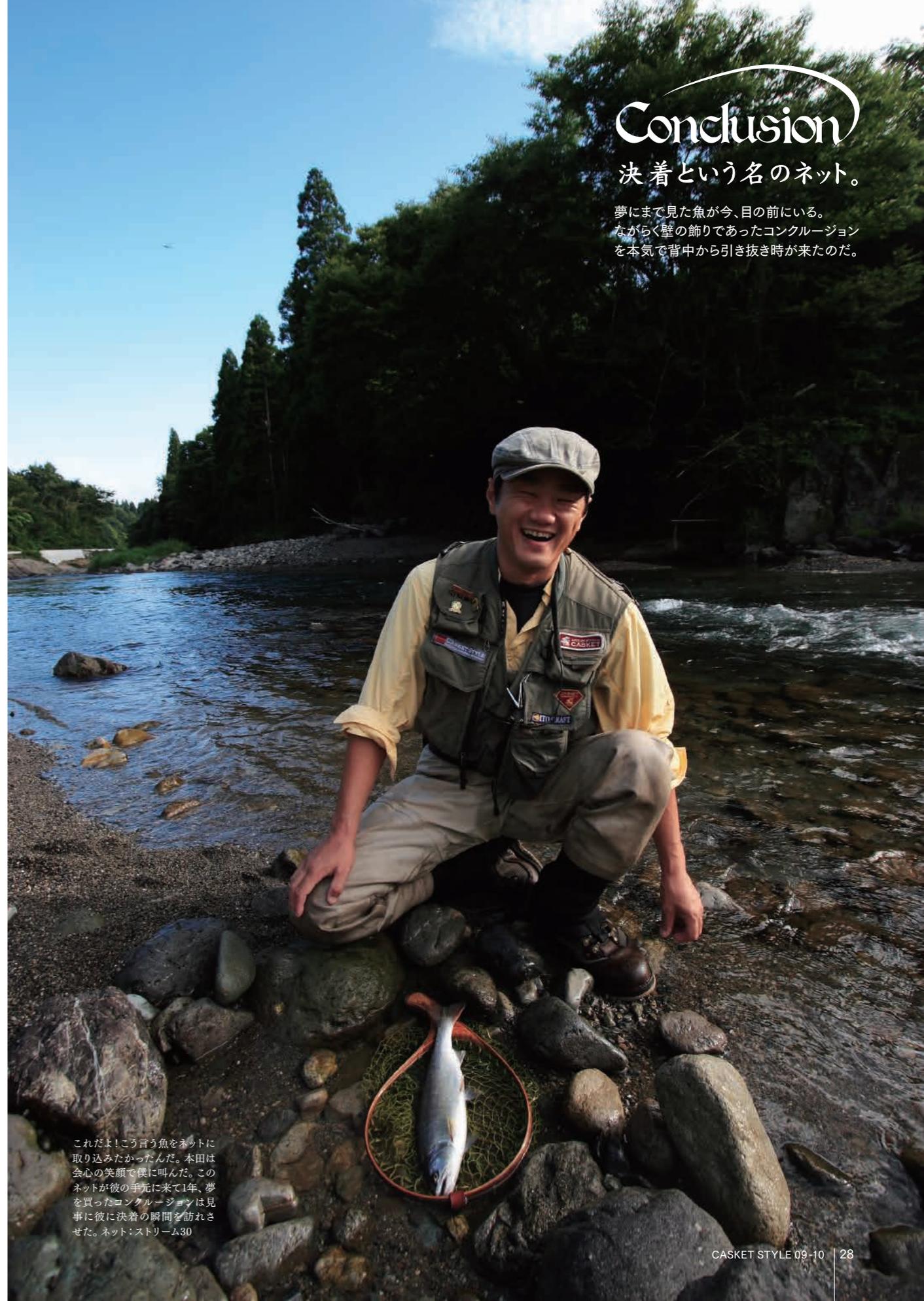
ウッド：ブラックウォルナットパール
ネットカラー：グラデーション*

*グラデーションネットカラーは職人が木肌を見て染めるオプションです。

Conclusion

決着という名のネット。

夢にまで見た魚が今、目の前にいる。ながらく壁の飾りであったコンクルージョンを本気で背中から引き抜き時が来たのだ。



これだよ！こう言う魚をネットに取り込みたかったんだ。本田は会心の笑顔で僕に叫んだ。このネットが彼の手元に来て1年、夢を買ったコンクルージョンは見事に彼に決着の瞬間を訪れさせた。ネット：ストリーム30

22. ウォルナット杣



加工性で定評の高いウォルナットの多くには、柎などと同様に「虎杣（虎の体表の縞模様のような杣）」がしばしば現れる。ダークトーンに浮かぶ杣の揺らぎは、光沢性に乏しい反面、重厚で気品あるコントラストを演出してくれる。衝撃吸収性も高く、銃床材にも使われてきた「世界三大銘木」のひとつでもある。

23. 花梨杣



まめ科の樹木には緻密で狂いの少ないものが多いが、花梨ほど日本の文化に馴染んだ外材（国外からの輸入材）も無いかも知れない。鮮烈な「赤」が日の丸の「赤」と重なるような深層心理かも知れない。

24. メイプル杣



北米ではメイプル、ヨーロッパではシカモア、そして日本では楓（カエデ）。「蛙の手」のような葉（モミジの葉）から、その名が付いて変化し、「カエルノテ」→「カエデ」となった説もある。日本の木材文化の中でも古くから愛され使われ続けてきたこの木は、実は「ワールドワイドな木」でもあった。

19. 神代ケヤキ



「神代」とは神話の時代の象徴。材木に於いては、千年以上土中に埋もれていた木のことを指す。空気に触れることで色の变化と共に割れや反りを生じやすく、乾燥の難しい木でもある。臆い神代が多い中、緻密な木目の神代杣は、特有のトーンと重厚さで「侘び寂び」をこの時代に伝えてくれる。

20. タモ玉杣



3D映像のように浮き上がる球形の杣は「玉杣」と呼ばれる。樹皮の形をも波打たせる導管のうねりが生み出す杣は想像以上に深く、その輝きも見事である。

21. コクタン



黒い樹木では周知の材。黒さと同時に狂いの出ない安定性をも備え、定規やジグに使われたりもする側面から、「木材を超えた木材」と言っても良い。周囲の素材を引き立てながらも独自の個性を主張できる「黒」の特権を担って、仏具・工芸品・嗜好品などあらゆる分野で重宝される様は、他に類を見ない。

16. 柎縮杣



白木の杣の材として、その杣の深さと美しさで他の追従を許さない柎。山脈のように聳え立つような深くてエッジの効いた縮み杣に魅せられる人は多い。経年変化で狐色に焼けた柎の色調は、コントラストも強まり格別の美しさ。極上の縮み杣は年々流通量が減少し、その貴重性は高まる一方である。

17. ゼブラウッド



楳目に見られる白と茶の縞柄が象徴的で、その名の呼称となっている。緻密な縞柄はこの樹種にしか見られない特徴的なもの。

18. クリ杣



加工性の良さと耐水特性に優れた素材。朴（ホオ）に似た淡いオリーブ色は、国産材でも珍しい樹色。地味さが周囲を引き立てる役目も担う。

11. 黒柿



国内人気最高峰の「孔雀杣」は黒柿特有の杣であり、日本の銘木史にも語り継がれる希少材。黒白の縞柄を有する「縞柿」も、特有の「侘び寂び」を演出する人気樹種。伝統工芸から日用品まで、あらゆる装飾に用いてその価値を高めるこの素材は、国内筆頭に挙げられる銘木（めいばく）中の銘木と言える。

12. シャム柿



黒柿と並んで好まれるこの素材は実は既にデッドストックとなっており、流通するシャム柿のほとんどは「ジルコーテ」と呼ばれる近似種。モノトーンでありながらエキゾチックな模様を魅せてくれる緻密で複雑な木目の多くは、玉杣と重なり合っ出ることも多く、黒柿とはまた違った魅力を不動のものにしている。

13. ブビンガ玉杣



極太の樹径に育つ東南アジアの広葉樹で、花梨と並んで家具や調度品に使用されることが多い。樹色も良好で、濃い紅（くれない）色の発色が特に素晴らしい。玉杣のブビンガは、木目の交錯と杣の反射光沢が掛け合わされて、まるで縮杣さながらの味わいながら、特有のテイストを持つ。

14. バーズアイメイプル



「鳥の眼」のような模様を称してBird's eye（バース・アイ）と呼ばれるこの杣は、メイプル（楓/カエデ）に出る模様として有名。装飾材として車や楽器、家具などに多く使用され、日本でも非常に馴染みの深い素材。明るく光沢のある樹色と立体感のある杣は、使い手の気分をも明るくさせてくれる。

15. カーリーメイプル



バースアイメイプルと同様に馴染み深い装飾材。同じカーリー（縮み杣）では柎の方が派手だが、構造材としてのポテンシャルはメイプルの方が一枚上手。

6. ニレ瘤



コーヒー豆のようなブラウン系の瘤杣が個性的。落ちついた色調でありながら木目は樺のようにダイナミックで、杣・木目ともに目を楽しませてくれる。光沢反射よりは模様や色のコントラストを楽しむのに向いており、ネット・リールシートにおいては渋い味わいを演出できる素材。

7. マーブルウッド瘤



落ち着いた淡色オリーブの下地に咲くオレンジ色の瘤杣の原産は東南アジア。独特のトーンとコントラストは、この樹種特有のオリエンタルなもの。光沢性が非常に高く、柎に似た網糸のような光沢を持つ。オイル・ウレタン仕上げ双方ともに美しい仕上がりを期待でき、塗装方法も選ばない。

8. ブラックアッシュ瘤



アメリカ原産の広葉樹で、木目は日本の楡（にれ）・樺（けやき）にも似る。瘤杣部位は極めて希少で人気が高い。ランディングネットを作る時はフレームにも極上の木を使いたくなる樹種である。

9. ブラックウォルナット瘤



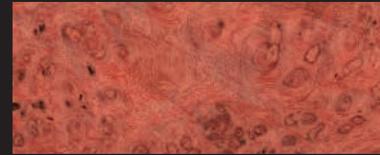
ブラックアッシュ同様に原産はアメリカ。クラローウォルナットと並んで双壁を成すダークブラウンのこの樹種はアメリカ本土でも非常に人気がある。ランディングネットを作る時はフレームにも極上の木を使いたくなる樹種である。

10. ハワイアンコア杣



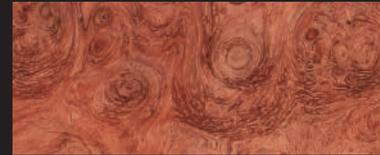
ハワイを代表する楽器「ウクレレ」素材を筆頭に、ギターの高級素材としても世界的にも有名な樹種。極上のカーリー（縮み杣）素材は、マニアの羨望的であり、ブラウンカラーが絶妙に揺らぐ様は他に類を見ないテイスト。ハワイ条例の輸出制限により入手が困難となっている希少材。

1. 花梨葡萄酒杣



花梨の緻密な瘤杣が密集する「葡萄酒（ぶどうもく）」。瘤模様が緻密なものは最近では非常に少なくなってきた。花梨の中でも特に希少性の高い部位である。

2. 花梨瘤（紅）



赤色の瘤材の中で一際人気の高い東南アジアの瘤。緻密な瘤杣が密集する「葡萄酒（ぶどうもく）」を筆頭に、紅白（赤白）が絡み合う部位など、表情豊かなこの素材は、装飾対象を選ばない。辺材（白木）と心材（赤身）の境界付近は特に色調変化に富み、優雅かつ大胆。「瞳を奪われる」とは正にこのこと。

3. 花梨瘤（白）



花梨瘤の周囲を皮下組織のように覆う白い部位（白木）は、心材よりは軟質ながらその杣は密であることが多い。スポルテッド材もここに多く見られる。

4. 花梨瘤（青白）



白色腐朽菌によって描かれる幻想的なマーブル模様（スポルテッド）は、白木（シラタ）部位に顕著に現れる。青縞と呼ばれる変色部位も大理石の様に非常に美しい。

5. 樺瘤



その堅牢性と光沢反射の美しさから、日本では柎瘤と並び装飾材として長年使われ続けてきた。白木の瘤材としては柎よりも緻密で硬く、オイルとの相性も良いことから、コンクリーション初期モデルより採用。加工性も良く、機能と美しさを兼ね備える数少ない国産天然素材でもある。

価格リスト

ウッド / ネットサイズ	モンスター	ビッグ トラウト& カーブ	ストリーム 30	ストリーム 26	ストリーム 23	備考	ウッド / ネットサイズ	モンスター	ビッグ トラウト& カーブ	ストリーム 30	ストリーム 26	ストリーム 23	備考
1 花梨葡萄酒杣	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	★	13 ブビンガ玉杣	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
2 花梨瘤（紅）	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000		14 バースアイメイプル	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
3 花梨瘤（白）	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000		15 カーリーメイプル	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
4 花梨瘤（青白）	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000		16 柎縮杣	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
5 樺瘤	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000		17 ゼブラウッド	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
6 ニレ瘤	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000		18 クリ杣	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
7 マーブルウッド瘤	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000		19 神代ケヤキ	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
8 ブラックアッシュ瘤	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	★	20 タモ玉杣	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
9 ブラックウォルナット瘤	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	★	21 コクタン	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
10 ハワイアンコア杣	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	★	22 ウォルナット杣	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
11 黒柿	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	★	23 花梨杣	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	
12 シャム柿	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000		24 メイプル杣	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	¥00,000	

★印はフレームが柎縮杣+コクタンの極上ランクでグラデーションカラーのネット仕様



エノハ

カウンターシェーディングが出るような晴天時に、透明度が高く、開けた溪で威力を発揮する銀地に透過性ブルーの配色に朱点の美しいカラーです。スローに誘うのではなく、リトリブにしる、トゥイッチにしる、素早くメリハリを与えてやるがこの色本来の効果を引き出すコツです。本来中層に紛れるための迷彩色が、瞬間的に放つ強烈な散光と存在感・・・それは、ジंकリアの賢者をも狂わせる引き金なのです。



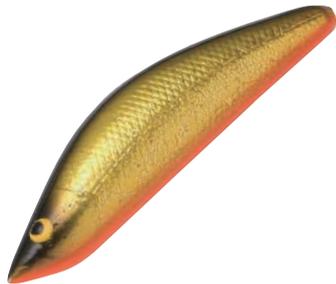
サイトブラッキンググリーン

雨前の重苦しい曇天時、浮遊物が多い雨後の急な笹濁り、陰影の濃いゴルジュや樹木が覆い被さる暗い溪、さらに深みのある緑水系などで、ハレーションによる輪郭のボケを防ぎ、ソリッドな明滅を生み出す新機軸色です。また、空一面を薄雲が覆って発光パネルのようになり、光が大気中に拡散している状況でも、従来の蛍光系アピール色のように膨張せず、エッジの立った強散光で誘い、正確にバイトさせます。



ディーブパープル

渓流カラーの定番中の定番、銀黒に代わる新しい定番色を模索する中で見つけたシークレットカラー。白銀×濃紫。オールラウンドに使っていただけるカラーですが、特筆すべきは難しい状況で魚を誘う能力の高さ。魚の活性が下がっている時はもちろん、流れの緩いトロ、屈きった湖、ピーカンのクリアウォーターなど、魚が極度にミノを観察し、見切ってしまう状況で試して頂きたい食わせのカラーです。



チラつき金黒（チラキン）

定番の金黒カラーにさらにマイクロラメをあしらった、ひと味違うカスケットの金黒です。光の面と点が交錯する、立体的な光態は動態視力の優れたトラウトの「見切り」を防げ、彼等をますます興奮させ、高ぶらせ、バイトに繋ぎます。川底が茶系の色味が強い水域や、曇天時はもちろん、タンニンが多いブラウンクリアな水域でのインパクトは他の追従を許しません。



シャンパンアユ

ボトムに岩にコケが豊富な水域や周囲の緑が濃いエリアで鮮やかな存在感を見せる、銀と金の中間、ごく淡いシャンパンゴールド×ナチュラルモスバック。ベイトのストックが多い場所でもファーストチョイスは、やはりこの色。背部のグリーンには、あえて半透過性パールを配し、クリアから緑色系、薄茶系の水色まで絶妙に馴染み、がさつな違和感を与えぬように仕上げました。トゥイッチ時の緑金がかかった煌きも効果絶大です。



アマゴ

生存競争の激しい鱒の世界で共食いが発生することは実際にあります。しかしこのカラーはそれだけでなくボディ側面に配されたパーマークやドットにより、絶妙な「ちらつき」を生み出す特殊効果を備えたカラーでもあります。ソリッドに輪郭を見せるカラーと異なり、距離感やシルエットを微妙にぼかしつつ、アクションのたびにちらちらと存在感を放ち、魚の興味を逸らしません。岩や緑、木漏れ日、枯葉など、色彩に溢れた溪でお試ください。



パールトラッド

開発チームがぜひトラウトアングラーに間いたパールカラーの限定色です。ややフラット目のボディに高品位、高純度パールを贅沢に配した、アルミニウムの金属的な輝きとは一味違う散光にこだわったシリーズです。トラウトの世界で最近忘れがちなパールの威力を再確認頂けるよう、パールをベースに実戦的な配色で仕上げました。クリアウォーターでの曇天時に抜群の集魚力を発揮するほか、朝・夕マズメの薄明、薄暮のローライトコンディションなどでも、素晴らしくナチュラルな明滅を見せて、魚を引き付けます。また、小刻みにトゥイッチしてヒラを打たせ、ディーブの魚を表層近くまで呼び上げて食わせる場合などにもおすすめです。



ラストレッド

闘争、食性、婚姻etc 自然界において生物が見せる様々な反射を見せる「赤色」の効果に着眼して生まれたカスケットこだわりの新色です。闘争本能や狩猟本能といったリアクションを引き出せるプライマリーな刺激色をなまめかしく、かつ実戦的に仕上げました。腹部には淡くパールを施し、トゥイッチ時の閃きも鮮やか。反射と食性の両面からトラウトを刺激する切り札、まさに「最終の赤」です。

なぜ、今、トラッドはスタンダードミノーなのか？

ロジカルベイツ 鈴木志典



TRAD *minnow*

私はまずその命題をきっちりさせてから仕事に臨む性分だ。考えるに今や進化を続けるタックルや釣法はある種の特化型ミノーを駆使した非常に釣れるメソッドだ。それゆえにかつてのスタンダードミノーが取り残され、スタンダードそのものの存在感や必要性が希薄になっている。我々がミノー黎明期に見付けたスタンダードは失われかけている。しかし、渓流は熟練アングラーでさえも予測不能な水流がある。それは乱流であり、淵の最後で巻き起こる揚昇流などだ。こうした不意の流れにヤマメはいる。そうして彼らのエリアの水流に弾かれることなく生き生きと流れを泳ぎきるミノーはある意味、トゥイッチングだけの特化型ミノーではない。つまりそれは大袈裟に言えば魅力的なただ巻きが出来る美しいミノーなのだ。トラッドが求めるスタンダードミノーはアップ、ダウン、クロスを問わず、ステディリトリブで優れた結果を出せること。さらに安定が良く、トゥイッチ、キル&ドリフト、U字など自在に対応できる懐の深さを備えた現代のスタンダードミノーなのだ。我々はトラッドへの命題をこうした新しい上質のスタンダードを指標とすることにした。

ミノー開発協力：ロジカルベイツ、工房ストリームデザイン

流れを攻略するトラッドミノー・ラインナップ

詳しい販売時期、カラーはHPを参照ください



TRAD90 SF/HS

大河川、湖沼の大鱒ハンティングに、そしてHSシンキングは海アメまでをターゲットに取って作成しました。SFは振り戻しの早いタイト目のウイグルロールによる高速明滅を身の上に、ジャーク、トゥイッチ、グリグリなど、幅広いテクニックに対応します。HSはまさに弾丸ミノー。ジグの射程範囲にジグを超える運動性能と表現力を打ち込む、高速、遠距離ゲームのスタンダードに仕上げました。強度に優れたウッドボディに、強度と水噛みを重視したFRPリップを採用。

TRAD78 SF/HS

渓流から本流まで、優れた安定性とロッドワークへの機敏な追従性でアングラーにストレスを与えることなく狙い通りのゲームを提供します。アクション重視のバランスでありながら、難流性能に優れたシェイプにより、重心移動ミノーに引けを取らないキャスト性能を保持。ペイトタックルにも対応します。広域での集魚力に配慮し、動きは50mmよりもややワイドなウイグルロールに設定。水がらみのよいウッドボディに強く水を捉えるFRPリップを採用。

TRAD50 MS

あらゆる渓流で、アングラーの感性、戦略に寄り添えるパフォーマンスを目指して製作した、ウッド製のストリームミノーです。水馴染みが良く、バルサを凌ぐキレのある泳ぎに優れた耐久性を備え、シングルフック、トレブルフックいずれにも泳ぎを乱すことなくセッティングしました。さらに実戦重視で設定された、やや頭下がり、沈下姿勢により立ち上がり素早く、ライントラブルも格段に減少。シルエットをコンパクトに抑えるために、リップはひとつひとつ手作りしたポリカを採用しています。

釣文

つりは釣れない時間が大半。だから思索の時間でもある。躍動の前の沈黙。夜明け前の闇。こうした時間があってはじめて「つり」と言えるのだ。



来年、いや未来の溪流の繁栄を願って藤田は今年も発眼卵稚魚の産卵箱を設置する。

釣文

文と写真 佐野 孝

「Real style」

白状しよう。
そう遠くない昔、
僕はトラウトアングラ
ーが苦手だった。

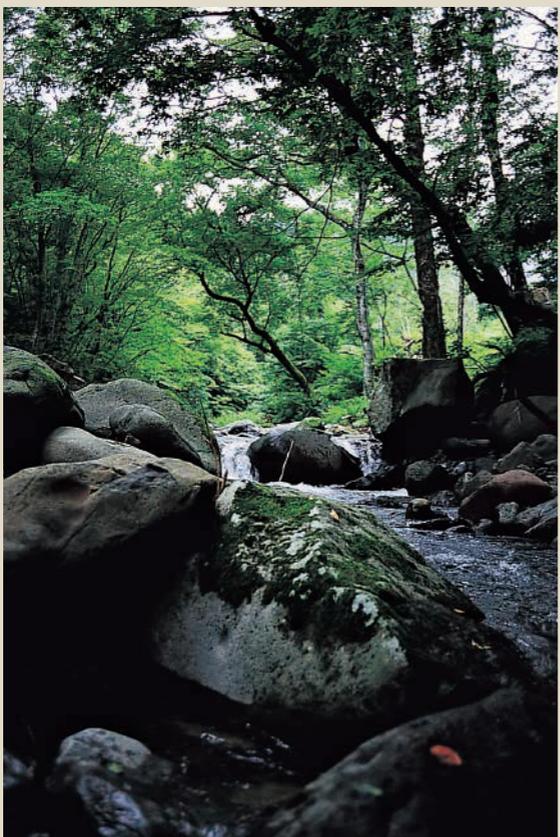
といっても苦手だったのはアングラ自身ではなく、彼らのスタイルであった。関東平野と阿武隈山脈が交わる北関東の地に育った僕にとって、溪流は行こうと思えばすぐにに行ける比較的身近な場所だった。実家の裏山には小さなイワナやカジカが

泳ぐ沢もあり、子供の頃はその沢でサワガニやイモリを追いかけて遊んだりしていた。そんな僕が、初めて本格トラウトアングラの姿を見たときに感じたのは違和感以外の何者でもなかった。チェストハイのゴアテックスウェーダーにゴツイブーツ、チェックのフィッシングシャツに小物を満載したフィッシングベスト、そしてカントリー調のハットと偏光グラス。頭の前からつま先まで「どうです！」と言っているようなスタイリング。大河で巨大なキングサーモンや、湖でレイトトラウトと格闘するならいざ知らず、たかだか30cmそこそこのイワナやヤマメを釣るのにどうしてあそこまで仰々しい装備が必要なのか。僕の目には、日本のトラウトフィッシングはフライもルアーもどこか屈折した美学に酔っているように見えて、そ

の肩肘はったキメキメ感というのに正直とも馴染めなかった。ただどししかし。たまに友人の付き合いでヤマメ釣りに行く程度だった僕が、誘われるままに本格的に溪流の釣りをするようになり、ロッドとカメラを手に様々な溪相の川を歩くようになると実際のところ、コトはそう単純ではないことが徐々に分かってきた。陽射しを遮るハットは日焼けを防ぎ体力の消耗を防いでくれる。フィッシングシャツは数こぎ時に肌を守ってくれるし虫刺され防止にもなる。おまけに濡れても不快感を与えない。偏光グラスは流れの中の魚を見つけるだけじゃなく、流れの中を歩くときに足元の深みや沈み岩の位置を的確に知るためにもとても有効なのを知った。そして、ちょっとした薬や行動食、撮影

のためのミニ三脚や予備のフィルムなど、携行するかを迷う小物について、あっさりとその迷いを解消してくれるフィッシングベストに至っては、その収納能力と利便さの福音にあらためてマザー・ガート・ポイルに抱きついてキスしたくなるほどだった。僕がただのカッコつけキメキメスタイルだと思っていたその「いかにもトラウトアングラ」的な装備は、実は溪流というフィールドが持つ湿度、冷気、雨、虫、足場の悪さ等々の様々な要因の中で少しでも快適にそして安全に遊ぶために、必要にせまられ磨かれた進化の末に辿り着いた格好だった。特定、しかも多様な変化が予想される環境の中で最大限能力を発揮するように最適化されたそれらは、ある意味ミリタリーウェアにも通じるところがあるように思

えた。そう、「いかにもトラウトアングラ」的「スタイルは実はカッコつけどころか、120%本気のリアルスタイルそのものであった。それから数年後。東北の溪流で友人が記念写真を撮ってあげるといので、僕は自分が釣ったヤマメとともに写真に納まった。その後しばらくしてそのときのプリントが僕の手元に届いた。そこに写っていたのは、ゴアテックスのウェーダーにブーツを履き、みつしりとポケットが膨らんだフィッシングベストを着こみ偏光グラスをかけ、小さな魚をさも誇らしげに見せ付けてもとつてもトラウトアングラな自分の姿だった。



釣文

文と写真 永森 伸一

「溪流初体験の日」



9月の連休、私は家族を連れて、馴染みの溪流に出かけた。この釣りにちよっとした目標があった。それは1週間後、11歳になる長男に初めての溪流釣り体験をさせ、親子一緒に楽しむというもの。

その日は秋晴れの良い天気、途中、発電所見学や山間の民家で自家製蕎麦を食べるオプションも付け、昼過ぎにこの川で最も緩やかな流れが続くポイントへと案内した。

車を少し広くなった田んぼの脇道に止めると、窓から心地よい秋風が吹き込んできた。妻はこの風を感じながらお気に入りの本を読むのだと言い、小学3年になる9歳の二男は家で飼っているカマキリの餌を捕まえるのだと言つて、イナゴを捕りに行つてしまった。

私と長男だけは、先日友人から譲ってもらったばかりのジニア用ウエダーとシューズを道端に広げ、サラサラと流れる川音を聞きながら釣り支度を始めた。

そして、少し大きめのウエダーとシューズを履き、私のベストを着た長男の姿を見ると「いつの間にか背が伸びたんだな。」と息子の成長の早さを感じてしまった。と同時に、私も小学5年から釣りを始めた頃の記憶が蘇ってきた。

今から31年前、私の擬似餌による釣りの原点も親父や親戚達との裏磐梯の湖で小さなサクラマスを購入して釣ったのが最初だと記憶している。

また、小学6年の冬にガリ版を使って手作りした卒業文集の中の「30年後の自分」という頁には「大好きな釣りを31年間続けているだろう」と息子にも釣りを教えているだろうと書かれてあった。

私は30年前に書いた未来予想どおりの「息子との釣り」が始まっている。

この釣りにためて用意していた4ピースロッドの手に、2人で田んぼ道を歩いて低い護岸の段差を下りると、長男の目の前に初めての溪流が広がった。

そして、緩やかな流れに膝下まで浸かると、私が教えたポイントにアップキャストで何度か何度もミノーを投げ込んだ。数投して「何かコッソリと感じたよ」とは言つてはくれたが、魚の反応では無かった。

流石に秋晴れの真の昼間という時間帯で魚の姿を見るのに難しいと思いつつも、何とか「本物のヤマメ」を息子にも見せてあげたいという思いから「ちよっとだけ父さんにも貸してみな」と今度は私も何度か激しいトウィッチングをかけてみた。しかし、状況は同じで魚の反応は無かった。

しばらくすると背後から「ドボン」と大きな水音。何が起きたのかと後ろを振り返ると長男が小石で水切りを始めていた。「おおい、今は釣りをしているんだぞ。静かにしろ」と書かれてあった。



「何かコッソリと感じたよ」とは言つてはくれたが、魚の反応では無かった。

流石に秋晴れの真の昼間という時間帯で魚の姿を見るのに難しいと思いつつも、何とか「本物のヤマメ」を息子にも見せてあげたいという思いから「ちよっとだけ父さんにも貸してみな」と今度は私も何度か激しいトウィッチングをかけてみた。しかし、状況は同じで魚の反応は無かった。

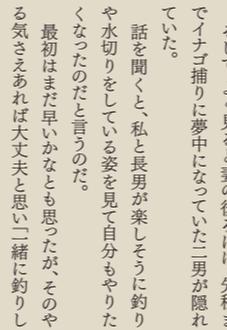
しばらくすると背後から「ドボン」と大きな水音。何が起きたのかと後ろを振り返ると長男が小石で水切りを始めていた。「おおい、今は釣りをしているんだぞ。静かにしろ」と書かれてあった。



「何かコッソリと感じたよ」とは言つてはくれたが、魚の反応では無かった。

流石に秋晴れの真の昼間という時間帯で魚の姿を見るのに難しいと思いつつも、何とか「本物のヤマメ」を息子にも見せてあげたいという思いから「ちよっとだけ父さんにも貸してみな」と今度は私も何度か激しいトウィッチングをかけてみた。しかし、状況は同じで魚の反応は無かった。

しばらくすると背後から「ドボン」と大きな水音。何が起きたのかと後ろを振り返ると長男が小石で水切りを始めていた。「おおい、今は釣りをしているんだぞ。静かにしろ」と書かれてあった。



「何かコッソリと感じたよ」とは言つてはくれたが、魚の反応では無かった。

流石に秋晴れの真の昼間という時間帯で魚の姿を見るのに難しいと思いつつも、何とか「本物のヤマメ」を息子にも見せてあげたいという思いから「ちよっとだけ父さんにも貸してみな」と今度は私も何度か激しいトウィッチングをかけてみた。しかし、状況は同じで魚の反応は無かった。

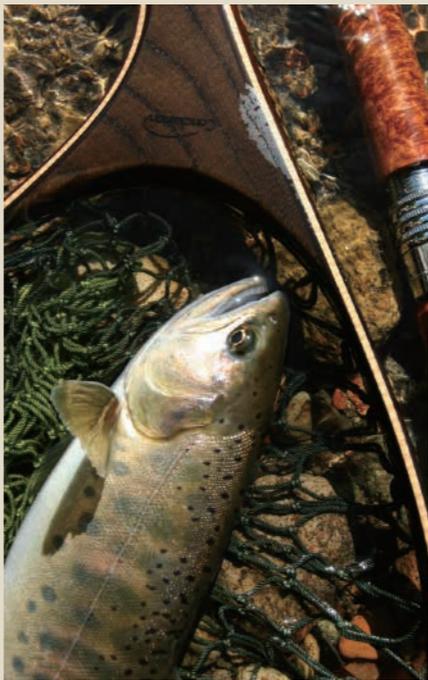
しばらくすると背後から「ドボン」と大きな水音。何が起きたのかと後ろを振り返ると長男が小石で水切りを始めていた。「おおい、今は釣りをしているんだぞ。静かにしろ」と書かれてあった。



「何かコッソリと感じたよ」とは言つてはくれたが、魚の反応では無かった。

流石に秋晴れの真の昼間という時間帯で魚の姿を見るのに難しいと思いつつも、何とか「本物のヤマメ」を息子にも見せてあげたいという思いから「ちよっとだけ父さんにも貸してみな」と今度は私も何度か激しいトウィッチングをかけてみた。しかし、状況は同じで魚の反応は無かった。

しばらくすると背後から「ドボン」と大きな水音。何が起きたのかと後ろを振り返ると長男が小石で水切りを始めていた。「おおい、今は釣りをしているんだぞ。静かにしろ」と書かれてあった。



「何かコッソリと感じたよ」とは言つてはくれたが、魚の反応では無かった。

流石に秋晴れの真の昼間という時間帯で魚の姿を見るのに難しいと思いつつも、何とか「本物のヤマメ」を息子にも見せてあげたいという思いから「ちよっとだけ父さんにも貸してみな」と今度は私も何度か激しいトウィッチングをかけてみた。しかし、状況は同じで魚の反応は無かった。

しばらくすると背後から「ドボン」と大きな水音。何が起きたのかと後ろを振り返ると長男が小石で水切りを始めていた。「おおい、今は釣りをしているんだぞ。静かにしろ」と書かれてあった。



僕が裸足なのは水中撮影を手伝ってくれた菱田氏（左）に長靴を貸したから。釣れば冷たいのも気にならないのだ。

釣文

文と写真 手島 浩志

「見事なイトウだ。よかつたですわねえ、遠征ですか？」

「ええ、福岡から。」

「それはなお素晴らしいや！」

「写真撮るんでしょう？手伝いますよ。」

見ず知らずの彼はそう言つて、今まさに時合いを迎えた夕暮れの猿払川で僕の撮影を手伝い始めた。

彼のおかげでイトウは弱ることなく、無事に僕の手から離れて、深淵に戻る姿まで収めることが出来たのだ。

最後に、僕はつきり地元の人だろうと思つていた彼は僕と同じ、一人旅の遠征だという。

「えっそれも名古屋から？」

写真を撮っている間にもう陽が暮れ始めていた。

「今日はあなたのおかげでイトウが見られたから帰ろうかな。(笑)」

彼はそう言つてこの夕暮れに本当に一度も竿を出さなかった。

悪びれる僕に夕陽が当たる彼は言った。

「あなたが僕の立場ならそうしてくれたでしょう？これが北海道のイトウ釣りなのですよ」と。



週末トップウォーターライフ
友達が釣ると僕も嬉しい！一体、何故だろう!?

BASS

僕には大学時代に知り合った3人の友人がいます。大学当時、僕がバスフィッシングをしていたので大学の暇な時間は揃って釣りをするようになりました。最初は普通にワームなどで釣りをしていた友人ですが、僕が目の前でオモチャのようなトップウォータープラグでデカイバスを釣った途端、彼らはハマリ

ました。それからトップウォーター専用の道具を買いあさり、あつという間に立派なトップウォータープラグガーに変貌。以来、シーズナルバタインなんてそつちのけ！二年中トップウォーターの釣りを楽しんでます！その中でも思い出深いのは今でもよく一緒に行く良太がトップで初めてバスを釣った時です。彼は下手じゃなかったけど何故か最後までトップでバスが釣れませんでした。それでも彼がワームを取り出さず何度も自分だけバスが釣れない日々を過ごした。そうして彼が初めてバスをトップウォーターで釣った時、皆で大喜びして、心の底から僕も嬉しかった覚えがあります。普通、一緒行った誰かが釣ると「負けないぞ！」と思う方が多いと思うのですが、僕はこの時の体験以来、友人が釣るとその時の自分と友人を思い出して嬉しいのです。それは彼らがトップの釣りを始めるというので、僕がロッドやリールのアドバイザーをしたり、オスズメのルアーや使い方を教えた責任があったのかもしれない。「自分が教えたことで釣ってもらえた」という満足感。思えばこの時の体験、喜びをきっかけに僕は釣り具屋を仕事に選んだのかも知れません。最初はなかなか釣れなかった良太が最近ではパンパン釣るようになって昔に比べて立派なトップウォータープラグガーらしくなったことが嬉しい。うまく言えないけど、これも釣りの楽しみの一つのような気がします。あ、でも最近は一緒に行ってる良太が先に釣ると悔しい気持ちはあるかも!?!釣る人ならこの気持ち分かりますよね？

HEAVY GAUGE おれないキャストを約束するロッド

HEAVY GAUGE HEAD LONG

名前の如く太くしっかりしたバットを持つが軽量。グラスでどこまで軽量と張りのあるロッドを作れるかに拘ったロッドは発売以来5年の月日を経て色褪せません。1oz classのトップウォータープラグをしっかりと背負えて、振り抜きがスムーズ。オーバーハングに低弾道でビシビシとキャストができます。バックハンドキャストやサイドハンドキャストなどのショートキャストが誰にも容易になりました。ヘヴィゲイジはオリジナルカラー製作も可能。下の写真で僕が使う白に赤スレッドのブランクは大学時代友人とチームロッドとして作った思い出のヘヴィゲイジです。



HG-HL52 Length 5ft2in Lure weight 5/8~1oz

HG-HL56 Length 5ft6in Lure weight 5/8~1oz

HEAVY GAUGE CLASSIC

キャストはビシビシ決めて、ペンシルやダブルスイッシャーをもっと水に絡ませたい。そうしたコンセプトに生まれたロッドがヘヴィゲイジのクラシックです。クラシックの名の通りブランクは優雅に曲り、ペンシルベイトや繊細な操作系のルアーをゆっくりと操ることが出来ます。クラシックも1oz classのトップウォータープラグを十分に投げることも出来ますが、フルキャストするなら5/8~3/4oz classのルアーがベストマッチです。特にカラーではクリアブラウンは光が透過するキレイなグラスロッドです。



HG-CL52 Length 5ft2in Lure weight 5/8~3/4oz

HG-CL56 Length 5ft6in Lure weight 5/8~3/4oz

カセットのロッドに合わせたい真太郎がお勧めのグリップ……………



■ブッチャーグリップ、アイスポット

スタッフ真太郎が重要視するキャストに必要なのはロッドだけではありません。正確にハンドル出来るグリップも重要な要素です。真太郎はストレートタイプよりもガンタイプの方が拳下に安心して最後の力が入れると言ってブッチャーグリップなどを愛用。ブッチャーと聞いてタイガーマスク世代の叔父様諸氏はもうお分かりですね。ヒヨコブランドのコラボグリップもカセットではおすすすめ。



大学の暇つぶしによく行った野池に僕の父を連れていきました。いつも15cmくらいの子バスばかりで子バス池と呼んでいたのですが父にヒットしたバスはヘヴィゲイジ・クラシックをグイグイと曲げます。取りこんでみると写真の45cmアップ! 大学時代の4年間、ここで30センチ以上のバスを釣ったことなかった僕らは初めて来た父にこの池にランカーもいたことを思い知らされたのでした。



朝、真夏のリザーバーはアオコで抹茶のようになっていました。水色を見てがっかりしましたが「とりあえず行くか…」が大正解! 水のコンディションは悪くてもバスの活性は高いことを経験した釣りでした。中でも写真の友人の久志が大フィーバーでビッグバスを3~4匹も! 良く釣れる時って何かその人の絶妙なリズムがあるような気がします。まさにこの日は彼のリズムだったようです。



嵐のような天候の中、レインジャケットを着込んで無理矢理釣りをするものの、半端じゃない風雨のおかげで開始早々ズブ濡れになってしまいました。何度も断念しそうになりながら釣りをしていると、友人良太が50upを釣ってしまい止めるに止められない状況に。(右写真) 僕も諦めず投げ続けた結果、なんと50upが釣れちゃった! 二人とも50upを釣るといふ奇跡的な一日でした。あのような状況でも諦めなくてよかった。



嵐のような大雨の中で人生初の50upを釣った友人良太。僕も羨ましい釣果でした。雨の中でもヘヴィゲイジはビシビシとポイントに決まり、僕も左写真のビッグバスをゲット。彼はこの釣行ですっかりトップに目覚め、週末はどんな時でも一緒に釣りに行く頼もしい相棒になりました。今でも彼と出掛ける時はこの日の回想でニマリです。



僕のバスフィッシングはまず、キャストありき

トップウォーターの釣りにおいて、バスを釣るために最も重要なことはキャストだと思います。最近の釣り場はどこもスレ気味で厳しい釣り場ばかり。従来のようなロングキャストで「ポチャン」と岩盤に落ちたような釣りは、正直厳しくなっています。今まで遠征に出掛けていたよく釣れるフィールドでも昔のように釣れなくなっていることは感じるし、そこに通っている地元のアングラーも同じようなことを言っています。やはり有名な釣り場となると多くの釣り人が訪れ、毎日のように叩かれていることでしょう。そのようなスレ気味の釣り場でもバスを釣るにはどうすればいいか? 僕は考えました。大きな着水音を出してしまえば、バスもルアーが来たこと察知して逃げてしまいがちで、釣れるチャンスを逃してしまっているかもしれない。例外もあると思いますが、今まで様々な釣り場に出向いて感じたことがあります。それは「繊細なキャストイング技術」と「静かな着水音」が釣るためのキーポイントだと言うことです。オーバーハングなどの様々なカバリーを攻略していくには、オーバーハングドキャストだけで攻略しきれません。場合によってはカバリーの奥の奥にまでルアーを届かせないとい釣れない状況もよくある話です。あと30センチ入るだけで釣果に差が出ることもあってあります。このようなシチュエーションでは、サイドハンドキャストやバックハンドキャストが必要不可欠です。これらのサイドから出るキャストはルアーを目で追う時間も長いので精度も上がり、弾道が低く着水音を抑えることが可能です。しかし、サイドハンドキャストやバックハンドキャストを苦手とする方も多くあります。そこでシタロウ流のキャストイング理論をまとめてみました! まずはどんなキャストの基本である「ロッドを曲げる」とを意識して下さい。ロッドを綺麗に曲げることが出来れば、よく飛び、タイミングが掴めれば精度も確実に上がります。この時に腕全体を動かさずに、手首のスナップを上手く利用して動作をシャープにするように心掛ける「これはオーバーヘッドの基本と同じです。その際はロッドにルアーの重みを感じながら限界まで曲げます。ロッドが曲がりきったら反発力を利用して、あとはタイミングよくリールのスプールを放すだけでいいのです。僕の場合、さらに低弾道でサイドハンドキャストもバックハンドキャストを行うように

しています。出来るだけ水面と平行に飛ばすことを考えた後ろに振りかぶるのでは無くロッドの先を回転させて溜めを利かせます。そのまま振りかぶるだけで、どうしてもテンプレ気味になってしまう着水音が大きくなってしまうからです。また、回転させることによりキャストのリリースするポイントが水面と近くなり、平行に飛ばせて弾道も低くなります。イメージは水面スレスレでラバージグなどをスキッピングさせる場合の動作に近いと思います。さらに、バックハンドキャストの場合はリールを下向きにするのではなく、スプールと親指が自分から見えるように待つのがポイントです。また、投げたいポイントを決めて、ルアーが飛んでいる最中はしっかりと目で追って下さい。この時、常にサミングで微調整をすることが重要です。さらに言うところ低弾道にはある程度の速い初速度が必要なので、結果キャスト直後にはサミングを開始し、ポイントに到達する前にルアーを減速させなければいけないのです。より静かにする場合は、着水ギリギリでサミングです。瞬間にロッドを少し送り、これをマスターすれば1オンスクラスのルアーでもほぼ無音で着水することも可能です。初速度の付けやすさを言えば大袈裟ですが、最近流行りの小型プラグよりも重たい1オンスプラグのほうが着水音を静かに出来るようになるかもしれません。着水音を気にすることは豪快なトップウォーターフィッシングには細かいことかもしれませんが、より釣りたいと思う方は是非実践してみてください。僕はこの釣行が出来たようになって釣果が上がったと思いますし、人が投げ込めないポイントでもキャストが出来るようになってきました。あと、ロッドはデロンデロンのロッドよりもある程度は一定の反発力が見込めるロッドで投げられる方が上達するのは早道だと思います。そしてとにかくキャストしまくって練習してください。繰り返せばそのうちタイミングが分かって、目をつぶっても夜釣りでも体が勝手に動いてナイスキャストが送れるようになりますよ!!



LUCKY STRIKE 実は神頼みではない戦略ロッド

LS-L55 Length 5ft5in Lure weight 5/8~3/4oz

ラッキーストライクのライトモデル。5/8oz class以下のルアーがベストマッチ。10~15g程度の小型ルアーが気持ちよく扱えます。特にペンシルベイトなどの操作系のルアーにはオススメです。素直なティップのおかげでバイトも取りやすくなっています。この竿に結ぶのはサッチモホーン、デカダストローイ、スライドペンシル、インナーハンドWBなどが最適です。

LS-M55 Length 5ft5in Lure weight 3/4~1oz

ラッキーストライクシリーズのミディアムモデル。3/4~1oz classのルアーがベストマッチ。キャストの時にはしっかりとタメが聞けるので、キャストフィーリングが気持ちの良いロッドです。ペンシルベイトからノイズーまでオールマイティーに使える一本。この竿に結ぶのはシンプ、ビッグバド、反りトンボ、チャドウオーカー、ゼイニートービードなどが最適です。

LS-H55モデル Length 5ft5in Lure weight 1oz over

ラッキーストライクシリーズのヘビーモデル。1oz classのルアーがベストマッチ。抵抗のあるダーターやノイズーも楽に扱えます。全体的に張りがあるので、ショートレンジで数を打って釣りをする時にオススメです。バックハンドやサイドキャストもやり易くなり、ぶち込み系の釣りには抜群に性能を発揮します。この竿に結ぶのはマイティアロー、ラグモジョイント、2Pスナッチ、マンドリラー、ヒヨッグなどが最適です。

真太郎がお勧めのタックル



イーヴァの冒険vol.2

舟型ルアーは数あれど、これでトロリングもできちゃうルアーはそうないでしょう。バスフィッシングをしたことがない人や彼女を誘った時には奥の手で忍ばせたいルアーです。舟の後ろに着いているロッドには本物のガイドが装着。これにラインを通してエサやフライ、ワームをドロッパーとして使用するとどんな人にも何が釣れちゃいます。休日絶対笑って帰りたい人必携。



ABU5000シリーズ

やはり僕はリールはアブがお気に入り。20gを超える木製プラグを投げるのにハイテールは必要ありません。僕が求めたいのは雰囲気と使っているだけで感じる満足感、充実感です。カスケットではサイモン下村さんが古き良き時代のアブリールを復刻させた新品が手に入るのが嬉しい。しかし時代とともにまた消えようとしているのが心配です。新品でリバイバルアブを手に行けるカスケットの在庫を一度ご覧ください。



プラスチックシリーズ

岩盤にも木製プラグを躊躇なく投げてボロボロに使い倒す僕ですが、丈夫だけでなく、状況によってはプラスチック製が有り難いシーンが増えているのも事実です。なによりハーフスプークなキラメキはウッド製では出せない魅力。さらにはラトルサウンドも出せるシリーズは広大なリバーシャローを打ちまくるのに集魚効果が期待できます。最近僕のタックルボックスで定番増ルアー達です。カスケットにて販売中。



イーヴァの冒険で釣った成家さん。実は友人からプレゼントにもらったらしいのですが渡された日、このルアーで釣らないと帰れないことに。最後のドロッパー作戦でようやく釣れてこの笑顔。このルアーには笑い声が似合います。大人になってもワハハと笑える友人がたくさんいるって素晴らしいですね。



はじめてバスフィッシングに女性を連れて行きました。名前はゆみちゃん、あ、いやルアーはイーヴァ君です。なかなかトップウオーターで釣ってもらうのはムズカシイけどこのルアーがあって本当に助かりました。(苦笑) ところがまたゆみちゃんとバスフィッシングに行きたいと思っているのですが彼女はなかなか釣れてくれません。(苦笑)



ラッキーストライクの初釣りには福井県へ遠征に出掛けた時に釣れた57cm。国内では自己最大のバスでしたまさにラッキーストライク！神様っている気がしました。この日はアカシブランド明石さんからプロで預かっていたカボネに炸裂!! 真夏の真っ昼間にこんなサイズが出るとは全く思っていませんでした。メキシコで釣った自己最大サイズは超えなかったけどやはり日本でこのサイズを出したかった!!



昔から父に連れて行ってもらった川で泳ぎながらバスフィッシング。泳いで行かないとどり着けないポイントはまさに夏限定、とっておきの場所です。そう、釣れたら一緒に泳ぎます。これがまた最高に楽しい!!まさにカスケットが言う釣りではなく「Fishing」の瞬間です。ぶは〜気持ちいい!!!

バスフィッシングはたくさん笑った方が勝ちでしょ。



このネーミングを聞いて、ピンと来た方、そのとおり。「ストライクアゲイン」のおまじないで有名な煙草の銘柄からこのロッドは名付けました。ヘヴィゲイジが1本選ぶならコレ!的なロッドとするとラッキーストライクシリーズはあえて選択ルアー専用を細分化しました。つまりレンジは5'2"とすべて同じでライト、ミディアム、ヘヴィとパワーを変えて用途に合わせた三種を展開。カヌーの上で釣りをするのに同じタックルを並べても釣果は変わりません。気分転換と同時にロッドに合わせてルアーも変えアクションも変えることと今まで釣れなかったフィールドが一変することもあります。これからのバスフィッシングをもっと深く、積極的に楽しむためのロッドシリーズです。

田んぼのと真ん中に看板も前ふれもなく谷川製麺所はある。奥では主人がせっせとうどんを捏ね、奥さんが温かいうどんを出す。昔から続く讃岐うどんの姿だ。



薄暗い早朝の湖面をフローターが進んでいく。前日の雨で岸際の草木はすっかり冠水し、湖面からは霧が立ちのぼっている。目指すは最奥の流れ込み、そしてそこに広がるウイードエリアだ。

梅雨に入ったばかりの6月のある日、ボクはそんなシチュエーションでバス釣りをしていた。先週から降った暖かい雨、風もなく静まり返った水面。誰もいないウイードエリアからはビッグバスのオーラさえ感じられる。ちょっとキャストするのが怖いくらいだ。昨日巻いたヘアバグは、ドールアイをクリクリさせて、ボクに愛嬌を振りまいている。これから猛獣を誘い出しに行くというのに、本当にあどけない表情だ。ウイードベッドの真っ只中でバスバツサ、パコン、パコン……。おどけた跳りを繰り返すヘアバグ。そんなことしたらとんでもない猛獣がやってくるぞ。しかしヘアバグはお構いなしに水面で踊る。バスバツサ、パコン、パコン……。そしてついに猛獣が発見、モワアヘアバグに近づくと、一気に吸い込みにかかる。ドバッ！

ヘアバグやポッピングバグ(総称してバスバグという)を水面で操る釣り。いわゆるバスバグというは本当にエキサイティングな釣りのフライロッド版でも言ったらいよいよ、とにかく同じ類のものであることは間違いない。だから多くのトップウォータープラグの口は、じつはかなり入りやすい所にあるのだが、それ以上にベイトキャストイングタックルが普及したためか、この扉の入り口は、今まで誰も本気で開こうとはしなかったようだ。ちなみにここで言う扉とは、完全なるバスバグキングへの扉であり、単にフライでバスを釣ることは少し意味が違う。日本でフライでバスを釣るといって、以前より溪流にいけないフライマンが暇つぶしにやっいて、タックルも4、5番あたりが一般的



だった。確かにそれでもバスは釣れる。タックルもそれで十分といえは十分だ。でも実際にやってみると分かるのだが、トラウトフライの残り物でどんなにたくさんバスを釣っても必ず飽きる。そして物足りなさが残るはずだ。なぜか？ボクが思うには、それはバスとトラウトの食性の違いによるものだと思う。つまりトラウトの場合は、セレクトティブな食性をいかに本物のエサに似せて騙すかという部分にゲーム性があるのに対し、バスは見た目よりもアトラクターに反応させ、リアクションバイトのスイッチを入れるところから最大のゲーム性があるからだ。だからこの部分を全くスパスイルしてしまう釣り方でバスを釣ると、やはり面白くないということになるのではないかと思ったりもする。でなければ、ビッグバドなんてルアーをヘッドが本気で作るわけがないのだ。もちろんバスバグやポッパーだけが正式なバスフライではない。ここからはちょっとバスフライの歴史について書いておこうと思う。バスバグがアメリカで発明される以前からバスはもちろん、フライで釣られていた。最初のバスフライはインディアンが発明したホブと呼ばれるジグフライだった。そして皆さんご存知のあのオービスの創設者、チャールズ・フレデリック・オービスも、ウェットフライでバスを釣っていた。どちらもアトラクター性の強いウェットフライであるが、1800年代の末頃になると、それまでない概念を持ったフライが出現する。それがコルクポッパーであり、新しい概念とは、浮くものでバスを釣る、という部分だとされている。今では当たり前のコルクポッパーも当時としては画期的なアイデアだったのだろう。なんせ、それまでは沈ませるのが当たり前だったフックに、ビール瓶の栓と七面鳥の羽を取り付け、浮かべて釣るようになったのだから。世界初のトップウォーターベイトはじつはジェームズヘドンの木片ではなく、ミ

讃岐うどんバスツアー

文：大田政宏

四国で腹いっぱいフライでバスを釣り、腹いっぱい、うどんを喰わせる男がいた。



大田は初めての案内客にも親切で面白い男だ。最初の野池(ヨセミテ池)に到着後、お気に入りのオールドグラスロッド、フィリブソンですぐに一匹釣ってみせた。



右手はしっかりと固定され、左手のダブルホールが見事に決まっているのが分かるだろう。後はブランクの反発力を待てば勢いのついたフライが前方へと綺麗にターンする。



- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| 2 | 3 | |
| 4 | | |
- 1=大田が作るMasahiro popper。シンプルだがよく考えられたフライだ。
 - 2=どこのうどん屋も自分で作る。店々で様々な具材が用意されていて楽しい。
 - 3=食べる前に記念撮影。讃岐の人は早食い？3分後に大田のうどんはない。
 - 4=何者か？ものすごい音を立て大田のフライを水中に引きつり込む。この時期はトンボも多く実際それを捕食しているバスが湖面をうろろろとしていた。トンボを捕まえる勢いでバスはフライを襲う。

県という土地はフライでバスを釣るには絶好の土地柄で、当時、野池にフライマンなど一人も居らず、無数に点在する野池、山間の美しいダム湖など、全てがバスバッキングの最高のシチュエーションだった。この10年間で、ボクは普通の釣り人が一生かかっても体験できないような良い思いを沢山したと思う。なんせ平日会社に行く前に、ちょっとやってみると、藻穴から50オーバーが飛び出すなんてことも度々あったのだから。そこに住んでいるというのは、遠征するのとはワケが違う。この釣りを本気でやるきっかけになったのも、香川という素晴らしいフィールドに身を置くことが出来たからだと思う。そしてもう一つ、香川ですばらしいフィールドに身を置くことが出来たからだったのが讃岐うどんだ。農家の軒下でうどんを食べ、フローターを担いでバスを釣る。うどんは消化が良いからすぐに腹が減る。だからまたうどんを食べる。この繰り返しで休日を通す。なんとも気ままでのんびりとしたバス釣りがそこにある。まるでうどんの炭水化物がそのままフローターの動力源になっているかのようだ。野池とうどん。この二つは香川県にとって、当たり前なのだが、この二つをそのまま組み合わせると、無敵の観光資源になるのではないかとふとそんなことを思い、なにか冗談で始めたのが、さぬきうどんBASSツアーというわけだ。今年で5年になるが、これまで多くの釣り人と知り合いになり、本当に有意義だった。野池というのは規模は小さいが、それゆえに手付かずのところも沢山あり、実際にロクマルがいた池もいくつかある。そういう未開拓の野池をこれからも釣り歩いていきたい。そして何よりも、うどんを食べながらフライでバスを釣るという超スローなスタイルを通じてバスバッキングとバス釣りのルーツを探ってみたい。

ズーリ州とアーカンサス州のビール工場から出荷されるビール瓶の栓だったのである。バスバッキングの魅力は、こういったバスバッキングのちょっとしたルーツを探ることでもあり、ボク自身としては大変興味深い分野なので、益々のめり込む原因にもなっている。

ということ僕自身これまでかなりバスバッキングにのめり込んで来たわけであるが、日本のバスフライ事情をみると、やはりまだまだメジャーな釣りとは言えないように、実際に釣り場で行っている人に会うこともまずないし、バス釣り雑誌はもちろん、フライ関係の雑誌でさえこの釣りを記事にすることはほとんどない。さらに、もしこれから始めるにしても、いろいろと厄介な難所をクリアしないといけない。タイングとかキャストイングもそうだし、道具だってルアーと共通する部分は皆無だから一から買い揃えないといけない。そんな思いをしてまでこの釣りを始め、バスを釣っている人というのは、ボクは相当なモチベーションの持ち主ではないかと思ったりもする。そのモチベーションがなにからくるのかは、わからないが、共通して言えるのはたぶん、やってみたら意外にも釣れて楽しかった、ということではないかと思う。つまり敷居は高いのだが、やりだすと結構ハマったりするのだ。ボクがフライでバスを釣り始めたのもまさにそんな理由からで、元々はイワナを釣りに来て山梨県の道志川に通っていたのだが、イワナの釣果が芳しくないとならないうちに山中湖まで足を伸ばし、平野ワンドでウサを晴らすべくバスを釣っていたのが始まりだ。今から20年前の山中湖は面白いようにバスが釣れた。そして次第にフライの対象魚がイワナからバスに移り、10年前に四国の香川県に引っ越してからはほとんどバス専門になってしまったというわけだ。香川

文 宮沢 豊

バスをフライで釣る。正統派でいくなら、ウエイトフォワード6〜8番のライン、8フィート6インチ〜9フィートのロッドを使い、リーターも4〜2Xを7〜9フィート、ティペットを30cmほど、となるだろう。溪流で使う0〜4番という低番手は、使うフライが小さければ対応できるが、バスバグやストリーマーといった大きなフライになると投げにくい。逆に9番以上はオーバーパワーになるだろう。

正統派バスフライから派生した、カスケツト流のバスフライシステムは、フライのピギナーでもバスフライを楽しめるように考えられている。特徴は、使うロッドが短く、ティップアクション。使うリーターも短く、このシステムはフライフィッシングで難しいとされるキャストイングを、より簡単にマスターできるまでには考案している。

なぜ短いティップアクションのロッドを使うのか？その答えは、ロッドはスローに曲がると投げにくいからである。さらに、長くなると投げにくくなる。フライキャストイングのピギナーには、長くて曲がるロッドはラインの重さを感じにくく、タイミングをとりにくいで投げにくいのである。

ではなぜカスケツト流のバスフライシステムは7フィート7インチや6フィート6インチにこだわったのか？それはカスケツト流のバスフライシステムは、長いロッドのメリットが必要ないからである。カスケツト流は、カナヌーやフローターで釣る。カナヌー、フローターは無音に近い状態でスポットに近づけることができる。そのため、極端なことをいえば、キャストの距離は、5mもあれば十分なのだ。よって、長いロッドはシマミになるし、フライラインを長く出してフォールキャストをする必要もないのである。

フローティングバスバギングを極めたロッド



dearboss #777 Length 7'7", line #7-8

#777は7'7"、ウエイトフォワードフライライン#7〜9をしっかりとロッドに乗せられるバスフィッシングコンセプトのフライロッドです。多くのトラウト用フライロッドの#7,8対応ロッドは9'近いレンジですが、ショートレンジで精度を求めて楽しむバスフィッシングには長すぎます。少々風でもフライゲームを可能にし、ボリュームのあるプラグフライをしっかりと一日中キャスト出来る最低限で最高のスペックが#777には盛り込まれています。



dearboss #666 Length 6'6", line #5-6

フライキャストになれてくると、ほんの少シタックルパワーを下げたくなるのが釣り人の性。#777のパワーゲームでバスフライを覚えた後は、このロッドでフライの腕をさらにステップアップしてください。#777ほどの強引なゲームは出来ませんが、ダブルフォールのタイミングをしっかりと掴んだアングラーならば、そうキャストに苦勞はしません。もちろんヒットしてからバスとの時間はより長く楽しめます。

爺さんになっても使えるリール



CF002 #3-8

ラインサイズ：#3-4、#5-6、#7-8の3タイプ
ライズドビラータイプと呼ばれるオーソドックスなスタイル。この形は見た目よりも大きなラインキャパで軽量に仕上がる利点があります。フレームリム部分は手仕事によるヤスリ掛けで仕上げられています。見た目はシンプルですが、手の入った作りのリールです。



CF018 #5-12

ラインサイズ：#5-6、#7-8、#9-10、#11-12の4タイプ
中・大型のパーミング両軸受けスタイルのリールです。優雅なS字ハンドルでクラシカルな様子の中にも強力なドラッグを発生させるディスクブレーキを内蔵しています。ディスクローターをオフセットした位置に設けた珍しい構造です。



CF019 #5-8

ラインサイズ：#5-6、#7-8の2タイプ
ハンドル回転がフレーム内に備えた一對のギヤで増速されるマルチプライヤーと呼ばれるタイプです。スプール回転が速いのでラインの巻き取りが早く出来るというのが利点ですがそのスタイルはいかにも「メカ」といった様子を持っていて楽しい形です。クラッチ入りディスクを内蔵の強力ドラッグ。



CF006 #5-8

ラインサイズ：#5-6、#7-8の2タイプ
ワイドスプールで独特なデザインのラージアーパーリールです。ラージアーパーはラインに巻き癖が付き難く便利です。強力なディスクブレーキを備えています。時にはあえてドラッグを緩めてフロントスピールのリムを手のひらでパーミングしてダイレクトに魚とのファイトを楽しむのも良いでしょう。



CF007 #3-8

ラインサイズ：#3-4、#5-6、#7-8の3タイプ
アイボリーのサイドプレートが目を引くパーミングスタイルのリール。ボルトが表面から見えないようにして優雅さを演出しています。再度プレートの取り替えが可能。たまにはこんなオシャレなリールを付けてロッドを振るのも楽しいものです。



CF011 #5-8

ラインサイズ：#5-6、#7-8の2タイプ
クラッチ入り入りディスクを内蔵したライズドビラータイプ。磨き出されたリムとアンティーク調に黒染めされたサイドプレートのコントラストが目を引きま。リヤセンターに設けたドラッグつまみを回すとセンター軸周りに仕込まれた3本のピストンがディスク板を押して抵抗を与える珍しい構造のディスクブレーキを使っています。



今回一緒に濃岐うどんバスツアーに参加した天野氏。見事にフライでの記録更新を果たす。カスケツトのエクスペローラハット(62頁参照)が決まるナイスガイ。

とりあえずこれさえあればフライが始められる。

文=手島 浩志 イラスト=スタジオピス

フライラインの知識

ライン重量と釣り場の適正

フライラインの番号は先端から30フィートまでの重さで1~15番までAFTMA規格が設定されている。

3	④	5	6	7	⑧	9	10	11	12
溪流	大川	海	湖	湖	湖	(遠投もの)			海大もの
						バス			

図*1

フライラインの形

- DT(ダブルテーパー)
- WF(ウェイトフォワード)
- WF(ロングベリーウェイトフォワード)
- BBT-SWT(バスバグテーパー・ソルトウォーターテーパー)
- ST(シューティングテーパー)
- L(レベルライン)



①フライロッド

フライロッドは使用するライン番体にあったモノを選ぶ。フライはラインの重さを使って飛ばすからフライラインの重さ(＃～番表記)がまず重要なのだ。使用する場所で異なるフライラインの目安は左の図を参考にしてもらいたい。(図*1 フライラインの知識)カスケットでは dearbass#666 が6番表記で5~6番が適当なライン設定で dearbass#777 は7番表記で7~9番までが使用目安だ。

①フライロッド

※フライラインとリーダーの結び方はネイルノットがお勧めだ。

⑤テーパーリーダー

⑦フライ

フライはバスを誘い出すいわゆるルアーだ。本物に似せたモノからコミカルな表情でスプラッシュを上げるのに工夫されたポップーなど様々。カスケットでは全国のフライを愛する個人タイヤのフライを販売させてもらっている。



wonderful!



③フライライン

フライラインは長さは通常30mでラインの重さによって番号がある。目的に合ったラインの重さを選択することが肝心だ。また、より飛ばしやすいように先端が重く太くなってリール側に従い細くテーパーして作られているラインのことをウェイトフォワードテーパー(WF)と呼ぶ。さらにそれよりも先端に重心を寄せたモデルをバスバグテーパーと呼び、カスケットのフライシステムの場合、これらの二つをお勧めしている。

■オススメライン

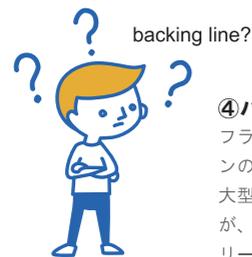
ROYAL WULFF:TTBA-(6-8)FG
AIRFLO:RIDGE LINE DISTANCE TAPER WF(6-8)F



②フライリール

②フライリール

フライリールははずりラインを収納する事が目的でこれもラインの番体によってラインの太さが違うから大きさ(番号)のあったモノを選ぼう。つまり溪流用の小さなフライリールは3~4番設定なので7~8番のような太いラインは入らないのだ。他にはリールでファイトすることもあるが要は格好良いリールを選ぼう。60歳になって使っても恥ずかしくない拘りのある丈夫なリールを選んでほしい。カスケットのリーディングエッジシリーズは職人が一つ一つ手作りする世界に一つだけのリール。海外のアングラーにも注目の的は間違いなしなのだ。(p53参照)



④バックングライン

フライラインが約30mなので、その根元に巻く下系ラインのこと。30-60LBのPEラインでも良い。このラインは大型で走る魚に30m以上出されたときを想定して必要だが、バスではほぼ使用することはない。しかしいきなりリールに巻くとフライラインにクセがつくのでスプール径を太くする役割がある。



⑤テーパーリーダー

フライラインからフライをつなぐ間のライン。名前の通りフライラインに結ぶ所は太く、先端に従って細くなっている。バスバグは溪流用のフライと比べて重く、空気抵抗があるので通常鱒フライショップのテーパーリーダーは最後にターンさせられなくて適さないものが多い。様々にあるものの中でカスケットが唯一お勧めできるのはマキシマのテーパーリーダー(0-2X)だ。讃岐うどんのように張と腰、パネがあって最高のライン。ただしテーパーリーダーが用意できなければ太いラインと細いラインを継ぎ足して作るいわゆるノットテッド・テーパーリーダーシステムでも良い。このシステムの参考はコントロールリーダーとして、8号ラインを1.5m、4号または3号ラインを0.5~1mつないで作る。

⑥スナップ

テーパーリーダーの先端をスナップで結んでおけばフライの交換に便利なのでお勧めだ。誤解しないでほしいのは通常のフライシステムだとここにはティベットというハリスの役割のラインがきてフライに直結される。しかしバスを釣るフライの場合ティベットを長くすると、うまくターンすることが出来ないの僕は省略している。直結でも良いけど結び変える度に短くなるから、やはりあった方がいいと思う。大きさは軽くて小さな#0-1がお勧め。

⑥スナップ

⑦フライ

フライラインのAFTMA規格表示
DT:ダブルテーパー
WF:ウェイトフォワード
ST:シューティングテーパー
L:レベルライン

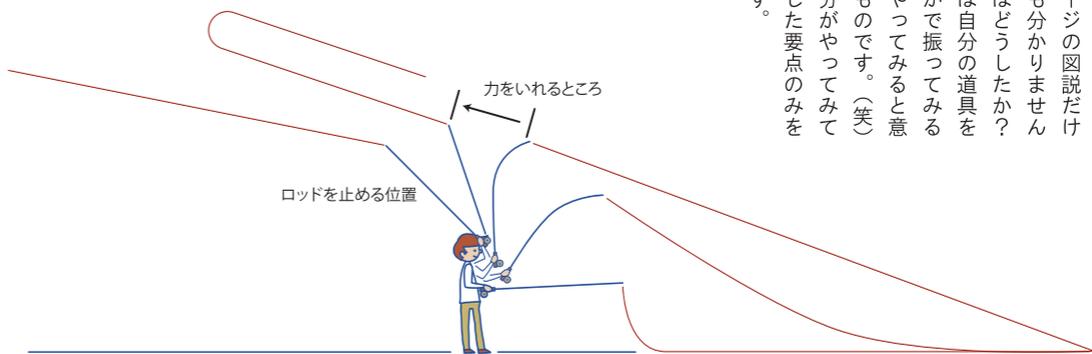


ライン重量を表すAFTMA規格

- F:フローティング
- S:シンキング
- F/S:フローティング/シンキング
- I:インターミディエイト

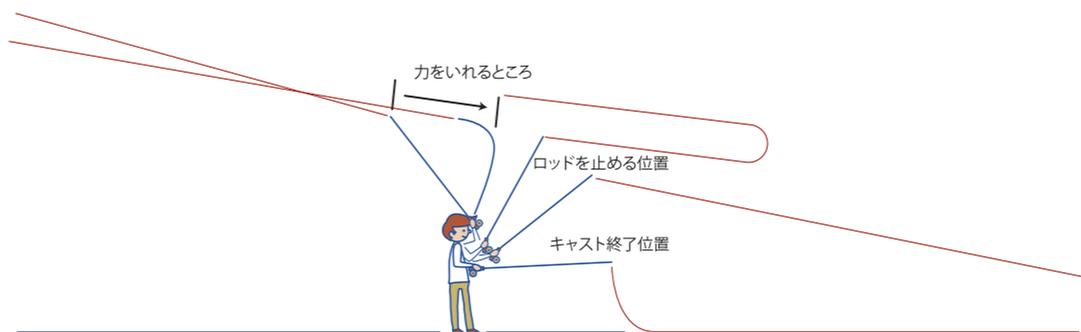
キャストイングについて

キャストは練習よりほかをおいてありません。僕も本やホームページの図説だけではちっとも分かりませんでした。ではどうしたか？それはまずは自分の道具を揃えてどこかで振ってみることです。やってみると意外に出来るものです。(笑)そうして自分がやってみて重要だと感じた要点のみをお話しします。



ロッドは必ず止める。

よく10時2時の位置でロッドを止めよと言いますがまあこれは本当です。でも何時の位置でないといけないということはありません。とにかくラインを出したい方向に対して向けたロッドが9時3時のような位置まで寝ていてはラインがうまく飛びません。ロッドからラインがずいぶん出ているので時間差があると思えば良いと思います。とにかくラインがしっかり行かせたい方向へ飛び出すまでしっかりロッドを止めて待つことです。



勢い(力)をつけるのはフライラインループの端っこだけ。

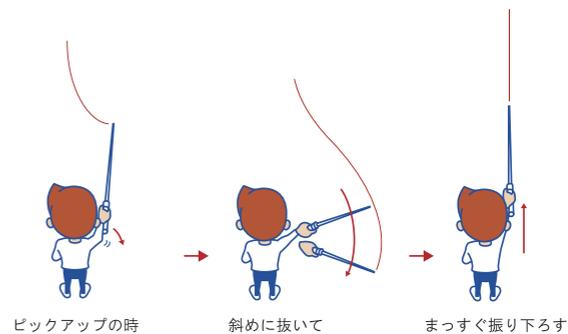
これは言い過ぎかもしれませんが要はハンマーでも振り回すと思ってください。勢いよく振り回し続けるには意外とどこか一点(一瞬)だけに力を入れれば後は簡単に回すことができると思います。つまりこれです。

キャストは1回の動作で決める。

特に僕がお勧めするキャストは一回のバックキャストと一回のフォワードキャストで完結する形です。つまりフライを水面からピックアップする時にロッドをしなせグイっと力を入れたらほぼその位置でロッドを止めてください。後は何もしなくても(ロッドを止めていれば)ラインが後ろに走ります。そうして最初はラインを目で追ってラインが最も後ろに伸びた時、今度は前方に向かってグイっとロッドをしなせで押し出す。この時もこの一瞬でロッドは止めてください。そうするとラインはきれいに楕円につぶれて前方に走っていきはらずです。そうしてフライが目的の場所にターンして着水するタイミングでロッドを水面近くまで下げてキャストが完了です。これをピックアップ・アンド・レイダウン「拾い上げて、そして下に置く」キャストと言います。

ロッドはまっすぐ振ってまっすぐ降ろさない方がいい。

これも言い過ぎかもしれませんがつまりまっすぐ振ってまっすぐに出すとラインやフライがロッドや体に当たりやすくなるんです。だから僕はピックアップするバックキャストのときは斜めに抜いて、前方に押し出すフォワードキャストはまっすぐに振り下ろします。こうするとフライが体の近くを通過しません。これをベルジャンキャストといい、前述のハンマーを振り回す動作と思えば簡単ですね。



かっこいいリールとは？

文石井 満

まだフライを始めたばかりの彼女が薄暗くなった川原の帰り道でぼそつと言った。

「要はフライリールって、糸をまけば良いのよね？」

「たぶんね。でもカッコイイほうが僕は好きだな」

「ふくん、やっぱそうだよな」

自分のリールがとりわけカッコイイと思っているわけでもないのに、つい答えてしまっ、はっとした。フライリールの魅力とは何か。

昔から同じような丸い金属の塊を沢山見てきた。良く分からない。

また、彼女は問う。

「じゃあ、どんなリールがカッコイイと思うの？」

僕は確信を突かれて一瞬答えに詰まった。頭の中を色々なリールがぐるぐる回った。

「塗装が剥けた大昔の渋いリールなんかどうだい」

「アンティークがあるの？」

僕は自慢げに続けた。

「大昔、貴族が専門の職人に作らせていたんだって。百年ぐらい前のリールを使ってる人もいるそうだよ。何十年も使われているモノってカッコイイって、思わないかい？」

「でも、そんなに古いんじゃないか？」

笑いながら2人は河原に止めた車にたどり着いた。

髪を縛り直しながら彼女がまたぼそつと言った。

「また来ようね、カッコイイリールも見せてね」

僕はやさしい目で彼女に笑いかけて車を出した。



釣りは確かに男の遊びだと思っただけ、大事な人がいればもっと楽しい時間がある。彼女とはショッピングも好きだけど、あの時はこうして何の遊び場もない自然を目の前に、そして釣りに連れてきた。そこで意外に彼女が男勝りにたくましかったり、思わぬ弱みを握ったり。たったそれだけの場所でも多くの時間を一緒に楽しく過ごせる彼女はそういないと僕はその時思ったんだ。そして大事な話をするつもりが、この日は何度も魚に邪魔をされた。いや、後で聞くと彼女はそんな時間に僕の事を知ったら良かった。

大事な人と過ごす時間。Let's fish simply!

OUTDOOR



いつもは騒がしいシュンタが静かになった。
そう、魚釣りに大声は禁物なのよ。

振り出しロッド“Simply”

つりの原点と言えば竿と糸だけのシンプルなエサ釣りでしょう。長さは3.6mで軽量、リールがないから子供や女性にもすぐ出来る。しかも初心者だって大物が釣れるかもしれませんよ。まずは釣り原点の楽しさをカラフルなシンプルーで提案したいと思います。どこかへ出掛ける時は常に車のトランクに忍ばせてください。フライも持っておくとエサがない場所でも釣りが出来ます。

シンプルー/カラー 4色

- オレンジ ■グリーン ■ブルー
- マスタードイエロー

全長：3.6m、8本継ぎ。



Let's fish simply!



9月のある日、私は学生時代のバレー部の友人、ひろ子とその子供たちを釣りに誘って熊本を目指していた。ひろ子はもちろん、子供たちも釣りはおろかアウトドアの経験はゼロ。私はこうした野外活動スブの素人達を連れ出して、あれやこれやと体験させては驚かせたり、感心してもらうのが好きだ。(笑)よく友達からも玲子みたいなお父さんが欲しい〜と言われるのは複雑だけど、実はこんな男勝りな私は父を知らない。私が産まれてすぐに父は亡くなり、母と3兄弟の我が家はアウトドアとは全く無縁だった。そんな私がアウトドアデビューを飾ったのは5歳の保育園の時。それはずいぶん前のことなのに、その日の風景や出来事はなぜか今でもクッキリ覚えている。休日のある日、姉の担任の先生が山好きでクラス全員、親子で宝満山に登ると言いだした。母は周りに迷惑を掛けてはいけないと「まだ5歳の娘がいるので」と一度は断ったらしいのだが、その先生は半ば強引に連れ出してくれた。宝満山は標高800mの山だが昔は修験者の山で大人の足でも片道1時間半はかかる。登り甲斐のある山だが、5歳の私はヒヨヒヨイとかけ上がった。すると、すれ違う大人達が「え、こんな小さい子が?」と驚く顔が嬉しかったのをハッキリ覚えていて。私は調子にのって、またさらに急いで先を指す。「コンニチハ〜」一人前にすれ違う人に挨拶するとみんな頭をなでてくれた。褒められながら山を登る、何とも言えない満足感。知らないおばちゃんこそ褒美と言ってアメ玉までくれた。「あ、山登りって楽しすぎる〜!」この単純な記憶は今の私を決定付けたのだった。そう、今日は私が小さい子供達にその素晴らしさを伝える番だ。子供たちはすぐに釣れなければ釣りに飽きちゃうかも。って不安はあったけど、その時はその時、今日のみんなでとことん遊ぶぞ〜とー今用意した振り出しロッド「シンプルー」は釣りでは最も単純なエサ釣りの竿。ほかに用意する道具と言えば、針、糸、エサ、浮きのたったこれだけ。まさにシンプルー。「しっかりウキを見てよ、彼らの背中にまわり、そっと手をそえお手伝い。竿とお揃いのカラ



大事な人を連れていきたいなら

Let's fish simply!

文 = 山田 玲子



フルなウキが水面を流れ、何度か魚の前を素通りした。次の瞬間、ビクッと視界からウキが消えた。「キタ〜!」静かな渓谷にビクッするくらい大声をあげたのは、なんと私だった。だって来ると分かっていたけどやっぱり嬉しい。サユミは何が起こったか分からない様子。頭の中は真っ白になって、とにかく糸を手繰り寄せ足元で元気な魚が暴れる。サユミはいさ目の前の魚だと怖がってなかなか触れない。このパニックしている様子がタマラナイ。(笑)そんな事もあろうかと用意しておいたバケツに魚を泳がせると安心して満足そうに眺めている。あんなに魚を怖がっていたのに嬉しそうに眺める二人。あ、これだけで幸せ。連れて来て良かった〜その後、何本も釣り上げるうちに魚も触れるようになったし、エサだって上手に付けちゃうよ。不器用ながらも自分達でやってみようとする二人がちょっとの間でたくましくなったように見えた。「スゴイ!こんなに釣ったの?」「サユミもシユンタも天才だよ!」「かっこいい〜!」たくさんの言葉でたくさん褒めまくった。二人はすっかり上機嫌、そして帰りの車を走らせる時ぐつぐつたり。二人は楽しかったかな?あの日、山で声をかけてくれたおばちゃんも、こんな気持ちでたくさん褒めてくれたのかかな。ふとそう思ったのだった。





SIG GRIP シググリップ

魚にも人間にも必要だったのはこのステンレス製のフィッシュグリップでした。大型魚の口から素手でフックを外すのは大変危険です。また魚を移動させたり、リリースする時に魚の回復を待つ間にもこのグリップは必携と言えるでしょう。ポイルやオービスにも採用された携帯型フィッシュグリップの元祖こそ、日本のアングラーしぐ氏が考案した「シググリップ」なのです。

カラー
レッド、ピンク、オレンジ、ブルー

シググリップ・カスケットオプション仕様。サイドカラーパネル、強化スプリング、グリップサポートナットなどを追加。



PETZL/ LED ヘッドライト

暗い夜道も洞窟もこれがあれば安心して本だつて読んでもいいでしょう。ペツルのヘッドランプ、ティカXPは軽量で4LED採用。直視は危険なほど明るいライトです。さらに1プッシュで押した間だけ照射したり4段階で明るさの調整や点滅も可能です。イーライトは不意の事態に備えておくのに適したモデル。車のダッシュボードやフィッシングベストのポケットに忍ばせておきましょう。防水ケース付属なのも本格的な冒険支援メーカー、ペツルならではの。

Tika-XP / e+Lite

Tika-XP



SIMMS シムス・ブーツ

剥き出しになった硬い岩は時には恐竜の歯のごとく、それを乗り越えて目指す流れにたどり着くには強靱な精神力と肉体、そしてシムスのウエーダースystemが必要です。世界中の鱗を追いかけるフィッシャーマンがバッグにこれを入れ忘れたらきつと大慌てするはず。カスケットではシムス製品を全種類取扱っています。サイズや用途などお気軽にお尋ねください。

SIMMS GUIDE BOOT



HUNTER BOOTS ハンターブーツ



あなたが長靴にお洒落と気品を求めるなら迷わずにこのブーツでしょう。最近ではスーパーモデル達の目にも止まり女性の間でもファッションアイテムにもなりましたが歴史は古く、ワートルローの戦いで勝利したウエリントン公がオーダーしたブーツとしても知られる英国皇室御用達のラバーブーツなのです。

カラー：ブラック、オーヴェルジン、メルロー、パンプキン、ネイビー
Welly Hunter



ORTLIEB HIP PACK

オルトリーブ・ヒップバッグ

まだ水辺におそるおそるカメラを持って行く人は出来るだけ早くこのバッグに出会うべきです。ドイツ生まれの防水バッグメーカー、オルトリーブがダイビングスーツにも採用されるTI-ZIPを採用した大容量ヒップ&ウエストバッグです。レンズを付けたままの一眼レフをすっぽり収納しフロントポケットにはタックルケースが入ります。溪流でよるけるスタッフ手島のカメラを守る最後の砦がコレです。

ORTLIEB HIP PACK
カメラ用インサートパッドは別売



ZEBRA ゼブラランチボックス

ぶつけても安心な弁当箱はそうないでしょう。頑丈なステンレス製で腐食知らず、だからずっと使えて、さらには食べ物以外を入れるのに使う人も出てしまう。スタッフ玲子のゼブラも5年使用でいい味が出てきた頃です。思わず家族で揃えたいくなるラインナップも魅力です。

ZEBRA/ ランチボックス
12cm(内仕切り付き) / 10cmX2段 / 14cmX3段



PERFETTO ベルフェ (マニエラ) KNIPEX クニペックス・プライヤー

暑い夏の溪流でベストを脱ぎ捨てるのが可能になりました。それはベルフェ考案のマニエラシリーズのウエーダーに付属できるフロントバッグスタイル。ウエーダーに付属するサスペンダーにパチンパチンとつけば胸の前にバッグが登場。小型ミノボックスなら二つは収納が可能です。また専用のストラップでウエーダーを着ない時はもちろん、旅先のポーチにも早変わりする抜け目のないバッグです。

ベルフェプライヤー専用ケース (写真は特別レッド)
レザー色：ブラウン、ブラック、レッドブラウン
クニペックスプライヤー160mm



マニエラバッグ (ベルトセット価格)
レザー色：ブラウン、ブラック、レッドブラウン



JETBOIL ジェットボイル

まさに魔法の瞬間湯沸かし器。スタッフ真太郎のように休日は寝るのも食うのも惜しんで魚に向かいたい人、つまり超せっかちモノにお勧めなストーブがコレです。早さの秘密は、クッカー底に広がる帯状のフラックリングが無駄なく熱を伝え、さらに外側からの風もブロック! ガスの量も、調理時間も半分ですみまます。

ジェットボイル (ポットサポートセット)
収納時サイズ：10.4X18cm

TRAMEZZINO トラメジーノ

とにかく食べられるモノはなんでも挟んで焼いてみてください。それが新たなトラメ・メニューでありこのフライパンの楽しみ方です。それはホットサンドに限りません。冷えたおにぎりを救い、前晩のおかずを高級春巻きに、さらにはホットデザートまで作る魔法のフライパンなのです。トラメジーノはイタリア語の挟むの意。アイデアは無敵です。

トラメジーノ
(イタリアンシェフ室井氏のレシピカード8種付き)
収納サイズ：210X190X30mm



CASKET
SELECT
GOODS

カスケットがお勧めするセレクトグッズ



ピンバッチ (トラウト)

カラー：スカイブルー、ホワイト、クリーム
七宝焼き職人手作りのオリジナルピンバッジ。ベストやハットのワンポイントに。お客様から愛称を募集して、トラウディ君に決定しました。



ランダムニットキャップ

サイズ：フリー
表裏の異なる糸で編むこむ事により、ランダムな凸凹感がお洒落。シンプルだけど個性的なニットキャップに仕上がりました。素材はカスケツトスカーフと同じ素材で夏でも被れます。



VISKET ニットキャップ

サイズ：フリー
カラー：ベージュ、ブラック、グレー
Studio VIS とのコラボブランド「VISKET」タグのニットキャップ。コットン60%アクリル40%の柔らか素材のニット。チクチクせずに耳までしっかり暖かです。

CASKET ORIGINAL GOODS

どこにもないからカスケツトが作ったオリジナルグッズです。

機能的で個性的、それでいてお洒落なグッズを作ることが

ブランドポリシー。



ロングモーンハンチングキャップ

サイズ：FREE(～60cm/アジャスタブル)
2009年春発売予定
ツバの長さが特徴のロングモーン。日差しをしっかり遮り、偏光レンズ使用時の視界もクッキリ。アジャスタブル機能でサイズ調整可能です。



カメラふろしき

サイズ：約48X48cm
カラー：ブラックウオッチXネイビー、タータンレッドXネイビー
大切なカメラを優しく包み水滴やホコリ、衝撃によるショックから守ります。ゴムで固定するのでカメラのサイズを選ばず、また取出しが早いのでシャッターチャンスを逃さない！



VISKET ワッフルロングTee シャツ

サイズ：S, M, L, XL
カラー：ブラック、ダークパープル、オリーブ
凸凹素材が面白いワッフルTeeシャツ。伸縮性も高く、肌触りも気持ち良い。ダウンの下に、またこれ1枚でも可愛い！



ピンバッチ (バス)

カラー：イエロー、グリーン、パープル
七宝焼き職人手作りのオリジナルピンバッジ。ジャケットやハットのワンポイントに。お客様から愛称を募集して、ブラッチ君に決定しました。



After rain comes fair weather.



VISKET カエルロングTシャツ

サイズ：XS, S, M, L, XL
カラー：ダークパープル、サンドベージュ、チャコールグレー
After rain comes fair weather～雨の後は晴天がくる。モリアオガエルがきっと幸運をもたらしてくれるでしょう。



ピンバッチ (AMB)

非売品
カラー：バスゴールド、トラウトシルバー
カスケツトユーザーの中で投稿が高く評価された方、その投稿がカタログ掲載された方に送る特別なアンバサダーピンバッジです。眼には宝石(人口ダイヤ)が埋め込まれています。



エクスプローラハット

サイズ：55～59cm
2009年春発売予定
無地とチェックのリバーシブルで、ガラリと雰囲気が変わります。チラッとチェック柄を見せて被っても素敵です。

今にして思えば、何も考えずに踏んだあの石の「カツン」が、あの淵の魚を沈黙させたのかもしれない。釣りは毎回こうすれば良かった、ああすれば良かったの連続です。このカタログにしてもきっと皆さんがご覧になる頃、「ああ〜!!」とか声を上げているに違いないでしょう。(笑)でもやらなければこんな思いもありません。幸運にもつりが仕事になってから、カメラを持たずに釣りに行くことはなくなりました。以前はよく、「カメラを持っていくと釣れないんだ。」と言い訳していたジグスを背負っていましたが最近、そんな魚との約束はなかったことを知りました。そればかりか、たった一度会う魚のために、以前よりもずっと重いカメラやレンズを背負って谷に下りています。この冬、試しに釣り具とどちらが重いかを比べると5倍以上もカメラ機材の方が重たかったです。(笑)そのうち釣り具のようにカメラも必要最低限を選べるようになればいいなと思っています。でも、この釣りに余計なモノたちは僕の釣りを一層深く、豊かなものに変えました。回り道は思いっきりした方がいいようです。釣りは釣れた方が良いに決まっていますが幸せの大小は魚の大きさよりもセンスで決まるのだと思います。カスケットの道具で釣れると気分がいい。そう言っていただけの道具をお届けするのが僕らの使命であり、皆様が過ごす貴重な休日のお手伝いです。最後にこの本に携わったすべての方々に感謝します。また水辺でお会いしましょう。



スカーフ

カラー：ブラック、グレー、ブラウン、グリーン
 暑い時はタオルとして、肌寒い時はマフラーとして。特殊な編み方で、驚くほどの伸縮性と気持ちよい肌触りを可能にしました。抗菌防臭練りこみ糸使用でいつも清潔。



リストベルト

カラー：ワインレッド
 左右1セット2本入り。ロッドを束ねるだけでなく、レインジャケットの袖口から進入する雨や風をガードするリストベルトとしても重宝します。



VISKET DESIGN
 with a smile



VISKET パーカー

サイズ：S, M, L, XL
 カラー：ブラウン、ネイビー、ブラック
 Studio VISとのコラボブランド、VISKETロゴパーカー。薄手でタイトなシルエット、お散歩やジョギングなど元気に着まわしてください。



ネックウォーマー

サイズ：S, M, L, XL, Jr.
 カラー：ブルー、マンゴー、レッド
 柔らかかフリースで首元暖か。紐をキュッと絞れば帽子に早変わり。釣り、登山、自転車、スポーツなど運動量の多い時もヒラヒラなびかないので安全です。



ピンバッジ(ライオン)

カラー：グリーン、レッド、イエロー、ブルー
 カスケットトラウトタックルのシンボルマークをかたどったピンバッジです。トラウトロッドにも同じライオンマークが刻まれます。

ご注文に際して

この度はカスケットの09カタログをご覧いただきありがとうございます。カタログ掲載の商品はホームページまたはお電話でご注文ください。

カタログ内の商品がすぐに検索できます。

<http://www.club-casket.com/catalog>

※本誌掲載商品の中には製作中の商品もあり、在庫変動するものや数量限定商品もございます。ホームページやお電話で発売日、在庫をご確認のうえご注文ください。

<http://www.club-casket.com/>

スタッフニュースは毎日更新、カタログでは伝えきれなかった情報が満載です。

電話受付：平日・土曜日Am10:00~Pm19:00 日曜日定休

Tel: 092-581-1187

発売元 CASKET
 〒816-0802 福岡県春日市春日原北町3-51
 TEL:092-581-1187 FAX:092-592-3848